

第四十五回帝國議會
衆議院

取引所法中改正法律案外一件
(取引所法中改正法律案)

委員會會議錄(筆記) 第一回

委員會成立

本委員ハ大正十一年三月十八日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

川原 茂輔君 中山 佐市君 鈴木 隆君
伊澤平左衛門君 木村清三郎君 福井 甚三君
坪田 十郎君 島田 俊雄君 渡邊 修君
藏内次郎君 加藤久米四郎君 松井 欽夫君
森田 茂君 山邊 常重君 武内 作平君
鈴木富士彌君 近藤 達見君 奥村千太郎君
同月二十日午前十時四十五分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

川原 茂輔君 中山 佐市君 鈴木 隆君
木村清三郎君 福井 甚三君 坪田 十郎君
島田 俊雄君 渡邊 修君 藏内次郎君
加藤久米四郎君 松井 欽夫君 森田 茂君
山邊 常重君 武内 作平君 近藤 達見君
奥村千太郎君

年長者藏内次郎君投票管理者トナル
○藏内投票管理者ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○武内委員ハ投票ヲ用キス川原茂輔君ヲ委員長ニ推薦シ理事ハ其ノ數ヲ三名トシ委員長ノ指名ニ一任スヘシトノ意見ヲ提出ス

○藏内投票管理者ハ武内君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ川原茂輔君ハ委員長ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

(川原茂輔君委員長席ニ著ク)
○川原委員長ハ坪田十郎君武内作平君近藤達見君ヲ理事ニ指名シ引續キ會議ヲ開クヘキ旨ヲ宣告ス

會議

出席國務大臣左ノ如シ

農商務大臣 男爵山本 達雄君
出席政府委員左ノ如シ

農商務次官 田中 隆三君
農商務省商務局長 鶴見左吉雄君
農商務書記官 川久保修吉君
大藏書記官 草間 秀雄君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

取引所法中改正法律案
取引所稅法中改正法律案

第五類第三十八號

取引所法中改正法律案外一件委員會會議錄

第一回

大正十一年三月二十日

一

(以下速記)

○藏内委員 ソレデハ私ガ年長者ノ故ヲ以テマシテ管理致シマス、本會ノ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒマス

○武内委員 川原君ヲ委員長ニ推選シタイト思ヒマス

○島田委員 理事ハ委員長ノ指名ニ願ヒマス

○藏内委員 御異存ハゴザイマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○藏内委員 ソレデハ川原君ヲ委員長ニ、理事ハ委員長ノ御指名ニ願ヒマス、ドウカ宜シク……

○川原委員長 御推選デアリマスカラ此席ヲ汚シマス、理事三名ヲ私ヨリ指名致シマス、坪田十郎君、武内作平君、近藤達見君、此三名ニ理事ヲ御頼ミ致シマス、委員ニ付託セラレマシタ法案ハ取引所稅法中改正案ト、取引所法中改正案ト二件デアリマス、是ハ關聯シタ問題デアリマス、レドモ、稅法ノ方ハ衆議院ニ初テ提出セラレマシテ、是ガ通過ノ上ニ於テハ、之ヲ急イデ貴族院ニ送付シナケレバ出來ナイコト存ジマス、ソコデ稅法ハ大藏大臣ノ管轄デアリ、取引所法ノ改正ハ農商務大臣ノ管轄デアリマス、併シ取引所法改正ノ結果、稅法ニ異動ヲ及ボスモノト認メテ、大體農商務大臣ノ御説明ヲ乞ヒマシテ、ソレカラ稅法ヲ後ニ定メタイト思ヒマス、ドウカ左様ニ御承知ヲ願ヒマス、一應大臣ヨリ大體ノ御説明ヲ願ヒマス

○山本國務大臣 取引所法案制定ニ付キマシテハ、一昨日ノ本會議ニ於テ大體ノ事ヲ申述ベテ置キマシタガ、尙ホ引括メテ申述ベマスノニ、此現行法ハ明治二十六年ノ制定ニ係リ、其後必要ニ應ジマシテ修正ヲ加ヘマシテ、今日ニ來テ居ルノデアリマス、近來商業經濟各方面ニ於キマシテ大ニ發達ヲ遂ゲマシタコトニ付キマシテ、今ノ行ハレテ居リマス取引所法ニ付キマシテハ、色々不備ノ點ガアルノデアリマスカラ、ドウカ之ヲ改正シテ、世ノ中ノ進運ニ應ズル途ヲ探リタイト云フコトデアリマシテ、當局者ニ於テハ一昨年臨時議會ニ於キマシテ調査費ノ御協賛ヲ得マシテ、サウシテソレト調査ニ取掛リマシテ、昨年提案ヲ致シマシテ貴族院ノ方ニ提出シテ置キマシタガ、ツイ時間ノ延ビタ爲ニ其儘ニシマシタノデアリマス、此議會ニ於テモ再び昨年ト少シモ變ラナイ同様ナル案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、其趣旨ト致シマシテ、ドウモ日本ニハ株式組織ヲ總テ取引所ガ出來テ居リマスガ、ドウモ取引所ノ性質カラ考ヘマシ

テモ、亦歐羅巴、亞米利加ナドノ先進國ニ行ハレテ居リマスモノニ付テモ、悉ク會員組織デアリマシテ、此會員組織ノ方ヲ理想トシテハ正シヤウデアルト云フコトヲ考ヘテ、此以後ニ於テハ會員組織ニ依リテ取引所ヲヤルベキモノデアラナラバ、之ニ依リテ許スコトニシヤウ、併シ從來ノ有價證券、商品、此取引所ニ於キマシテハ、殆ド總テ株式組織ニ相成ッテ居リマシテ、是迄會員組織モ一時行ハレテ居リマシタガ、ドウモ窮屈ノ爲ニ一時行ハレテモ、遂ニ消エテシマッタウナコトニ相成ッテ居リマス、ソコデ是モ亦弊モ多イガ、一方ニハ十數年ノ習慣ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ俄ニ變ズルト云フコトハ經濟社會ニ影響ヲ及ボス虞ガアルノデアリマスカラ、從前ノ取引所ニ餘リ影響ヲ及ボサナイヤウニシテ、サウシテ若シ從前ノ株式組織ニ於テ行ヒテ行キタイト云フ當局者及株主デアラナラバ、ソレハ自由ニ行ヒ得ル途ニ致シマシテ、サウシテ兩方共ニ是ハ爲シ得ルト云フコトノ方法ヲ設ケテ置イテ、サウシテ世ノ中ノ進運ニ件ヒマシテ、株式ヲ漸次ニ會員組織ニ變ジタイト云フナラバ、餘リ變動ヲ及ボサズシテ、サウシテ變ジ得ルト云フ途ニ於テ制定シタイト云フコトニ致シマシテ、此度ノ改正案ヲ制定サレタ所以デアリマス、ドウカ御審議ノ上御協賛アラントヲ希望致シマス

○川原委員長 稅法中改正法律案、之ニ付テ御尋ノ事ガアリマスナラバ此際御發言ヲ願ヒマス

○渡邊委員 之ニ付テ大藏省カラ説明ハアリマセスカ

○草間政府委員 極ク簡單ニ取引所稅法改正ノ趣旨ヲ申上ゲテ置キマス、稅法ノ改正ハ大體取引所法改正ノ趣旨ニ順應スル趣旨ヲ以テ改正致シタノデアリマス、只今ノ現行ノ取引所稅ニ於キマシテハ、一ツノ方面カラ課稅致シテ居ルノデアリマス、即チ第一ハ取引所營業稅、是ハ取引所ノ收入スル手数料ヲ標準トシテ課稅ヲ致シテ居ルノデアリマス、第二ハ取引所ニ於ケル定期取引買賣約定金額ニ對シマシテ、取引所稅ヲ課稅致シテ居ルノデアリマス、然ルニ今回取引所法ノ改正ニ伴ヒマシテ、取引所稅ノ方ニ付テハ色々改正ヲ要スル點ガアリマス、營業稅ノ方ニ付キマシテハ、別ニ何等改正ヲ加ヘル必要ガナイノデアリマシテ、現行ノ儘ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレデ此取引所稅ノ方ノ改正ノ要點ヲ申上ゲマスレバ、第一ニ從來ノ取引所法ニ依リマス、買賣取引ノ方法ハ定期取引、直延ト斯ウ云フ風ニ區分ヲシテ居ルノデアリマスガ、ソレデ取引所稅法ニ於テモ、所法ノ定期取引ト云フ字句ヲ捉ヘマシテ、之ニ對シテ相

當稅率ヲ以テ課稅致シテ居ルノデアリマス、然ルニ今回ノ取引所法ノ改正ノ結果ト致シマシテ、賣買取引ノ方法ハ總テ之ヲ勅令ニ讓ルト云フコトニナリマシテ、隨テ取引所法ノ中カニ定期取引ト云フ字句ガ全然無クナッタデアリマス、隨テ稅方ノ方ニ於テモ、此「定期取引」ト云フ言葉ニ代ルベキ何等カノ條文ヲ置キマシテ、課稅ノ範圍ヲ明確ニ致ス必要ガアルノデアリマス、ソレニ付キマシテ此取引所ニ於ケル取引ノ中デ、差金ノ授受ニ依リマシテ決濟シ得ル取引ニ課稅ヲ致スト云フコトニ致シマシテ、「定期取引」ト云フ字句ニ代ヘタ次第デアリマス、ソレカラ其次ニ第二ハ從來轉賣買戻ニ對シテハ課稅ヲセヌコトニナッテ居ルノデアリマス、即チ新規賣買ニノミ課稅致シテ、場ニ於ケル轉賣買戻ニハ之ヲ課稅セヌコトニナッテ居リマス、然ルニ今回ノ所法ノ改正ノ趣旨ニ則リマシテ、轉賣買戻ニ對シテモ課稅ヲスルト云フコトニ致シマシテ、新規賣買モ轉賣、買戻モ、共ニ場ニ於ケル賣買取引タル點ニ於テハ變リハナイト云フコトヲ以テ、轉賣、買戻モ課稅ヲ致スト云フコトニ致シマシテ、第三ハ稅率ヲ改正致シマシタデアリマス、即チ從來ハ新規賣買ニ對シテ、萬分ノ五ノ稅率ヲ以テ課稅ヲ致シテ居タデアリマスガ、今回轉賣買戻ニモ課稅スルト云フ結果ハ、稅率ヲ半減シマシテ萬分ノ二半ト云フコトニ改正ヲ加ヘタデアリマス、要ハ新規並ニ轉賣、買戻兩者ヲ通ジマスルト、稅率ハ從來ト何等變更ハ無イト云フ點デアリマス、第四ハ從來ノ長期即チ限月ニ依ル所ノ長期取引所ノ外ニ、短期取引ト云フモノヲ認メマシテ、サウシテソレニ付テハ稅率ヲ相當ニ低下スル必要ハアリハスマイカ、長期ヨリハ低イ稅率ヲ以テ課稅スルコトニ致シタ、ソレカラ第五ニハ一ノ制裁規定ヲ入レタデアリマス、即チ稅法ノ五條ニ依ッテ課稅致シマスモノハ、此差金ノ授受ニ依ッテ決濟シ得ル取引ニ對シテ課稅致スコトニナッテ居ルノデアリマスガ、場ニ於テ現物即チ差金ノ授受ニ依ッテ決濟シベカラザル取引ニ付キマシテ、寄ニ之ヲ差金ニ依ッテ決濟シタ云フ場合ニ於テハ、是ハ當然元來相當所稅ヲ負擔スベキモノデアリニ拘ラズ、之ヲ負擔セヌコトニナルノデアリマスカラ、是ハ一種ノ脫稅ト看做シマシテ、相當ノ罰金ヲ科スルコトニ致シマシテ、斯ル事ノ起ラヌコトヲ期シタ次第デアリマス、大體改正ノ重ナル點ハ只今申シタ點デアリマスガ、其外ニ形式ニ極細カイ改正ノ點ガアルノデアリマス、ソレハ從來取引所稅法ノ中ニ定期取引ト云フ文句ガ諸方ニ現レテ居ルノデアリマスガ、此「定期取引」ト云フ字句ヲ、之ヲ「賣買取引」ト云フ文句ヲ以テ代ヘルコトニ致シマシタ、ソレカラ「仲買人」ト云フ字句ハ之ヲ取引員ト改メタルコトニ致シマシタ、是ハ極細形式上ノ改正デアリマス、大體……

○渡邊委員 一寸伺ヒマス、此商品ニモ、矢張此七日以内ノ即チ短期取引ノ賣買ハ許サレル譯デアリマスデセウナ、サウ致シマス、有價證券ノ方ハ萬分ノ一・五デ、商品ノ方ハ萬分ノ二・五ニナリマス、即チ商品ノ方ガ高イデアリマスガ、一寸常識ヲ以テ考ヘルト、寧ロ米トカ、綿絲トカト云フヤウナ必要品ハ、有價證券ヨリモ廉クモ宜イ位ノモノニ考ヘラレマスケレドモ、少クトモ是ハ同等ニシタ方ガ宜カラウト思フノデアリマスガ、其區別サレテ理由ハドウ云フ譯デアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイ、モウ一ツハ此改正ノ爲ニ稅額ガドウ云フ風ニナリマスガ、大藏省ノ御豫算デハ増額ニナルヤウナコトニナッテ居リマスガ、其點モ伺ヒマス、ソレカラ「其ノ他ノモノ」トスウアルノハ七日以上ノコトヲ云フノデスカ、此三點ヲ伺ヒマス

アリマス、所ガ今回ハ其稅金ヲ半分ニシテ、受渡スレバ萬分ノ二半デアリマス、然ルニ轉賣買戻ヲスルト萬分ノ二半デアリマスカラ、受渡スルモノガ漸次多クナルデアラウ、其結果トシテ稅ハ減ルト考ヘテ居リマス

○山邊委員 現在ノ取引所法ノ第六條ハ殆ド其意味ニナルヤウニ見エマスガ、如何デスカ

○草間委員 其意味ト仰ッシタル意味ガ能ク分リマセマスガ、現在ニ於テハ轉賣買戻ニハ課稅シナイノデアリマス、所ガ今度ハ之ニ課稅ヲスル、其代リニ稅額ハ半分ニシタノデアリマスカラ、轉賣買戻ヲスル者ニハ、負擔ガ減リモ増シモシナイノデアリマス

○山邊委員 サウスレバ收入ハ矢張多クナル譯デス、今迄ハ實際取組高ノ一割シカ受渡ガナイ、然ルニ今度ハ最初買付ケル、若ハ賣付ケル、サウシテ途中カラ轉賣買戻ヲシテモ稅ヲ課セルノデアリマスカラ、政府ノ收入ハ増加スルト考ヘマスガ如何デスカ

○草間政府委員 私ハ受渡高ガ殖エルカラ、受渡ニ對スル玉ノ萬分ノ二半デハ減ルコトニナラウト思ヒマス

○藏內委員 大藏省ノ政府委員ニ伺ヒマスガ、新規賣買ノ五ハ、矢張以前ノ通り五ヲ御取引ニナリマスガ

○草間政府委員 總テ二半ニナリマス

○藏內委員 五ヲ二半トシテ轉賣買戻ニ課ケレバ、一ツノモノヲ二度ニ課ケマスカラ五ニナリマス、少シモ利害ノ關係ハ無イ

○福井委員 一寸御尋致シマスガ、短期取引カ主眼ニナッテ居リマスカラ、隨テ此制限ガ七日ヲ期限トシテ履行期ノ制限ガアリマスガ、ドウシテモ之ヲ獎勵ヲシテ、現物取引ヲ早クセシムルト云フ方法デアリマス、隨テ稅金ハ多額デアハルマイカト思ヒマスガ、尙ホ先程ノ賣買取引ヲ萬分ノ二・五ト云フノハ、少シ重クアリハシナイカト思ヒマス、其邊ノ基準並ニ其理由ヲ承リタイト思ヒマス

○草間政府委員 短期ニ屬スルモノガ——丁度長期ガ二半デアリマシテ、短期ガ一半デアリマスガ、是ハ或ハ長期ノ一番短イモノガ二十日ト假定致シマスト七日、是ハ三分ノ一ト云フコトニナリマスケレドモ、斯ウニ云フモノハ半分デアルトカ三分ノ一デアルトカ云フ風ニ、必シモ計數ノ二行クモノデハナカラウト思ヒマス、要ハ相當ニ稅率ヲ制限致シマスレバ、ソレデ其目的ヲ達セラレヤウト思ヒマス、現ニ是ハ約半額ニナッテ居リマスカラシテ、此邊ガ適當ト認メマシテ課稅致ス次第デアリマス、尙ホ萬分ノ二半ト云フノハ高過ギルト云フコトデアリマスケレドモ、是ハ從來ハ實際ノ賣買ダケニ課稅シテ居ッタガ、今回ハ轉賣買戻ニモ課稅シテ、之ヲ折半スルコトガ一番適當デアラウト思ヒマス、元來今回ノ改正ハ

○渡邊委員 商品ト云フモノニ短期——定期トデモ云ヒマスガ、ソレハ御許シニナル御方針デアリマスガ、如何デスカ

○鶴見政府委員 七日以内ノ期限ヲ以テ履行期トスル取引ハ、證券ノ方ニ最も適切デアルト云フノデアリマシテ、置イタノデ、第三種ノ商品ニ付テモ、實際ノ商習慣ニ依ッテ今日ノ所謂限月ニ依ッテ居ルモノ、外ニ、適當ノ賣買方法ガアレバ許ス積リデアリマス

○山邊委員 稅法ニ付テ伺ヒマスガ、萬分ノ二ヲ萬分ノ〇・六ニ切下ゲテアリマス、此點ハ同意ヲ表シマスガ、一昨日モ質問致シマシタガ、轉賣買戻ニ對シテ稅金ヲ取ルコトハ、從來ノ慣例ヲ破ルコトニナリハシナイカ、隨テ現在ノ取引所ノ九割ハ、轉賣買戻デ決濟サレテ課稅サレテ居リマセス、然ルニ今度ハ之ヲモ課稅セラレルノデアリマスカラ、大藏省ノ收入ハ非常ニ増加スルト考ヘマスガ如何デスカ

○草間政府委員 寧ロ大藏省トシテハ轉賣買戻ニ課稅スル結果トシテ、收入ハ減ズルト考ヘマス、何トナレバ今迄ハ萬分ノ五ノ稅率ヲ新規賣買ニ對シ課稅シテ居リマス、而シテ受渡スルト否トニ拘ラズ、萬分ノ五ノ稅金ヲ負擔シタノデ

負擔ヲ輕減スルト云フ趣意ハナインデアリマシテ、要ハ此改正ニ伴ウテ改正スルノデアリマスカラシテ、別ニ負擔輕減ノ意味ニ於テ必要ハナカラウト思フ折半シテ次第デアリマス

○山邊委員 萬分ノ一半ニシテ一週間ニ限ラレトハ、一週間内ノ現在ノ直取引及現物取引ヲ爲スノデアリマスルカラ、若シ一週間經テ契約ヲ更改シテ一週間後ニ取引ヲスル場合ト其他ノモノ、取引トハドウ云フ風ニ違ヒマスカ、其點ヲ伺ヒマス

○川久保政府委員 御答致シマス、只今御尋ニナリマシタ取引ハ、短期取引ニ包含スルモノト認メテ居リマス

○山邊委員 サウスルト一週間ノ期限ノ日ニ、更ニ其取引ヲ更改スルト短期取引ニ入テ、萬分ノ一半ト云フ制限ハ改訂サレマスカ

○田中政府委員 是ハ所謂直取引ノ短期ト長期トニ分ケマシタノデアリマス、短期ト云フハ期限ヲ一週間内ニシテ、一週間ヲ以テ結局受渡ヲシナケレバナラス、ソレデ一週間以内ニ於テ轉賣、買戻ヲ自由ニヤレル、言葉ヲ換ヘテ言ハバ、「一週間」ト云フ文字ガ「二箇月」ト云フ文字ト變タダケデ、一週間ト云フ最長限ニ於テハ轉賣、買戻ガ自由ニ出來ル、一週間後ニハ無論今日ノ三箇月ノモノガ三箇月後ニ至テシタノト、現在同様ノモノヲ短クシタニ外ナラスノデアリマス、其最後ニ至テ決濟ヲシテ更メテ取引ヲスルトカセヌトカ云フコトハ、全ク法律以外ノ新規ノ取引ニナルト思ヒマス

○山邊委員 サウスルト現在ノ直取引ハ、矢張定期ノ短期取引ト云フコトニナラナケレバナラス

○田中政府委員 直取引ト云フト勿論直取引デアリマシテ、同時ニ轉賣買戻ハ出來ナイ、賣ッタ人ハ渡シテ、買ッタ人ハ受取ルノヲ直取引ト申シマス、直取引ハ所謂差金取引デ、一旦賣ッタ者モ買代ヘレバ後トハ途中デ差金ヲ取ッテ決濟勘定ガ付ク、直取引ハ途中デ轉賣、買戻ガ出來タノガ直取引デ、其根本ノ觀念ガ違ヒマス

○武內委員 今ノ田中次官ノ説明ニ付テ伺ヒマスガ、現在及將來ニ於テ、七日以内ヲ履行期限トシテ定期取引ヲスルト云フコトハ、現在何所デサウ云フ事ヤッテ居リマスカ

○田中政府委員 御答申上ゲマスガ、實際ノ事ト理窟ノ事トハ分ケテ御考ヲ願ハナケレバナラスガ、所謂直取引ト云フモノガアリマス、是ハ法律上許シテアルモノデ、延取引ハ直取引ノ一種ナノデアリマス、現物取引モ一種デアル、此現物取引ハ直取引、延取引ト二ツニ分ケテアリマス、而シテ延取引ト云フモノハ矢張先程説明申上ゲル通り、賣ッタ者ハ渡サナケレバナラス、買ッタ者ハ受取ラナケレバナラス、其間ニ於

テ轉賣買戻等ハ出來ナイト云フ法律ニナッテ居リマス、併ナガラ法律ヲ何等カノ手段ニ依ッテ潜ッテ、轉賣買戻ノ效果ヲ收メテ居ル者ガアルト云フ奇觀ガ其時々ニ起リマス、デサウ云フ裏面ノ觀察ハ別問題デアリマスケレドモ、今日ノ延取引ハ一種ノ現物取引デアッテ、途中ノ期限内ニ轉賣買戻ヲシナイノデアリマス、所ガ今度ノハ二ヶ月ノ最長期限トシテ、直取引ノ外、又一週間ヲ期限トシテ、短期取引ト云フモノガ法律上許サレマスカラ、若シ短期取引ノ期限内ニ轉賣買戻ハ法律上ノ行ハレト云フコトニナリマス

○武內委員 サウ致シマス、結局現在ノ所デ御説明ヲ承リマス、現物賣買ハ延取引ト直取引ト分ケテ居リマスガ、今後ニ於テハ此賣買ハ兎モ角モ實質的ニ於テ現在ヤッテ居ル、矢張延一種ノ定期ニ見テ、サウシテ轉賣買戻ヲ許スコトニナル、斯ウ云フ趣意デスカ

○田中政府委員 御答申上ゲマスガ、ソレハ短期ト長期ト直取引ノ説明ヲ申上ゲマシタガ、延取引、直取引ト云フモノハ此以外ニ起リ得ルノデアリマス、又有り得ル譯デ、延取引ハ或ル期限等ハ變化スルカモ知レマセスケレドモ、所謂直取引ハ即時取引ト、ソレカラ或ル期間ノ延取引ト云フモノハ、法律上何等差支ナイノデアリマス

○藏內委員 此七日以内ノ期限ヲ定メテ取引ヲスル者ハ、更ニ今後法律ヲ御拵ニナルノデアリマスガ、今東京ニハゴザイマセヌガ、大阪ニハ延取引ト云フモノガ——一週間ヲ限ッテ取引ヲシテ居リマスガ、此延取引ト云フモノハ、東京デモ何所デモ出願ヲスレバ御許ニナッテ居ル、其延取引ノ中ニ此七日ノ時間ヲ限ルガ、其延取引ト云フ名目ニ限リガアラ、一週間後ニ超ユルコトガ出來ヌト云フ意味デアリマスカラ、此延取引ト云フモノハ大阪以外ニ何所デモ御許ニナル御考デアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○鶴見政府委員 只今次官ヨリ御説明ニナリマシタノヲ、モウ少シ私ハ言葉ヲ變ヘテ申上ゲタイト思ヒマス、今御質問ニナッタ事ガソコ當該ト思ヒマス、現在ハ此定期、直、延ト斯ウナッテ居ル、定期ダケガ差金決濟ガ出來ルコトニナッテ居ル、サウシテ延ト直ト云フモノハ法律上必ズ品物ト金ト換ヘナクテハナラナイモノデアル、然ルニ經濟上ノ要求ガ段々ト追ウテ參リマシテ、今日ノ所謂定期ノ限月ノ外ニ、現物賣物ト稱ヘマシテ、差金決濟ノ出來ルヤウナ取引ヲ非常ニ要求シテ參タノデアリマス、ソコデ取引所等ニ於キマシテ、名前ハ今日ノ法律上ノ直及延デグリマスガ、其實何所カニ決濟機關ヲ拵ヘテ、サウシテ表面上取引所ノ取引ト云フモノハ品物ガ受渡ガサレタヤウニナッテ、外デ決濟ヲスルト云フ造方ニナッテ居ルノデアリマス、是ハ取締上相當ニ是カラ方法ヲ講ジテ行キマセヌト、弊害ガ多イデアラウト思フノデアリ

マス、ソコデ今回ノ法律ハ改正ヲ致シマシテ、定期ノ中ヲ二ツニ分ケマシテ、サウシテ今回ノ所謂限月ノ定期、其外ニ清算決濟ノ出來マス所ノ短期ノ定期ヲ認メタノデアリマス、名前ガ定期ト云ヒマス、今ノヤウナ御質問ノ御疑點ガアリマスノデ、性質カラ云ヒマス、此決濟ヲスルモノハ矢張將來ノ事ヲ見テ、サウシテ或ル年限ヲ置イテ賣買ヲスルノデアリマスカラ、名前ハ買戻轉賣デナイケレドモ、決濟ヲ致シマスル爲ニ、是ハ一ツノ差金ノ決濟ト見テ、事實性質ハ定期デア、斯ウ見テ譯デアリマス、將來ハ此改正法ヲ通過ヲ致シマス、今日ノ限月ニ依ル定期ノヤウナモノト、ソレカラ七日以内ニ清算決濟ノ出來ル所ノ定期ト、斯ウ二ツガ出來テ、其外ニ差金決濟ヲ致シマスル品物ト金ト換ヘマス所ノ取引ガ賣物賣買ト云ヒマス、現物賣買——斯ウ云フコトガ出來ルコトニナル、ソレデアリマスカラ、ソレハ大阪以外ニ於テモサウ云フコトガ必要ナ場所ニ於テハ、ソレハ當然法律上出來ルコトニナルノデアリマス

○武內委員 此表ハ間違ッテ居ルノカ知レマセヌガ、私ノ持ッテ居ル改正案ニ依リマス、第十八條ニ取引所ノ賣買取引ノ期限ハ有價證券ニ對シテハ二箇月、斯ウ云フコトガアルノデアリマスガ、今政府委員ノ御説明ニ依リマス、ト云フ、七日ノ定期モアルト云フコトデアリマス、サウスルト七日ノ定期モ出來、三日ノ定期モ出來、一日ノ定期モ出來、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、續イテ私ハ此質問モモウ少シ明ニシタイト思ヒマス

○田中政府委員 御答申上ゲマスガ、一日ノ定期ト云フコトハ法律上成立チ得ナイト思ヒマス、所謂即時ノ取引デアリマスカラ、一日間ニスルモノハ、サウ云フコトハ所謂定期トシテアルマイト思ヒマスケレドモ、所謂定期取引ノ場ニ掛ケテ、午前ニ賣ッタモノヲ午後ニ轉賣スルト云フコトモ、少シモ法律上差支ナイ譯デアリマス、要スルニ定期ナルモノハ、初カラ法律ニ許サレタ年限内ニ於テ轉賣買戻ヲスルコトガ出來ル、所謂定期取引——今日ノ三箇月ヲ期限トスル定期取引ト同様ニ御承知下サレバ宜シイノデアリマス、ソレデ直ト云フモノハ所謂轉賣買戻ノ出來ナイ所謂現物取引ノコトヲ申スノデアリマス、デアリマスカラ七日以内ノモノニ付キマシテ、只今御説明ノ如ク、其取引所ニ於テ一日ノ中ニ轉賣買戻ノ出來ル方法ヲ執ッテ差支ナイノデアリマス、法律上許シテアリマス

○武內委員 十八條ノ賣買取引ノ期限ハ、有價證券ノ或ルモノハ二箇月ト書イテアリマスガ、其以外ニ二日三日ノ定期ヲ許スト云フコトハ何所ニ書イテアリマスガ

○島田委員 議事進行ニ付テ發言ヲ致シタイ、此取引所稅法ノ質問デアリマスガ、皆ナ玄人ノ方ガ集ッテ居ラレ

デアリマス。御質問ハ何レモ肯綮ニ中ル筈ト思ヒマスガ、今マデノ御質問ノ御容子ヲ見マス。ト云フ。如何ニモ甲乙互ニ發言スル。ト云フ譯デ、一ツノ事ヲ繰返シ、聽カレルヤウデアリマス。ソレカラ又政府委員ノ方ニ於テモ、甲ニ答ヘ乙ニ答ヘ種々セラレマス。之ヲ審議シテ急イデヤル、或ハ早クヤル意味ニ於キマシテモ、モウ少シ發言ヲ整理シテ、通告順ニ依ルトカ何トカ簡單ニ致シタイト思ヒマス。ソレカラ順次ニ一人ノ人ノ質問ニ説明セラレテ、他ニ移リタイト思ヒマス。ソレニ付キマシテハ此税法ノ改正案ハ委員ノ中デ只今見ラレタ人ガ多イヤウニ一寸見受ケテ居リマス。少シ熟讀シソレカラ委員會ニ於テモ、難談ヲ混ヘル機會ヲ御與ヘニナタ方宜シイト思ヒマス。其意味ニ於テ數時間休憩ヲ致シマシテ、今日ノ午後二時カラ開會セラレテ御進行ニナタ方早イカト思ヒマス。此事ヲ議事ノ進行ニ關シテ申上ゲマス。

○川原委員長 先程私ヨリ申上ゲタ通り、税法ノ改正ハ取引所法ノ改正ト連絡關聯ヲシテ居リマス。分離ハ出來セヌケレドモ、併ナガラ此案ノ成立ノ上カラ、此案ハ衆議院ニ早ク出タノデアリマス。希クハ今日質問ヲ打切テ、ソレデ二十日ノ本會議ニ上程セシメ、直ニ貴族院ニ送リタイト斯ウ考ヘマス。ソレデ此取引所税法ノコトハ此所デ質問ハ打切テ、各黨派デ御態度ヲ御決定ニナテ、二十日ノ午前十時ニ討論ヲ開イテ採否ヲ決シタイト思ヒマス。ソコデ今ノ萬分ノ〇・六トカ、萬分ノ一トカ、若クハ徵稅ノ方法ダケニ論議スル。ト云フコトハ困難ダラウト思ヒマス。デスカラ此税法ノ質問ハ打切リマセウ、サウ云フコトニ御承知ヲ願ヒマス。

○藏内委員 御審議ヲ爲サル前ニ伺ヒタイ、現在ノ取引所ノ稅率ニ影響ヲ及ボシマセヌカ。

○川原委員長 ソレハ取引所法ノ愈々決定ニナタ上デナイト、稅率ニ及ボスヤウナコトハアリマセヌ、便宜上通告順ニ依テ、此稅率ハ質問ヲ打切リマセウ、取引所法ノ質問ニ移リマス。先刻申シマシタ通り分離ハ出來マセヌ、便宜上斯ウシタラドウト云フコトヲ御諮リ致シマス。

○藏内委員 ソレ程騒ギマセマデモ、全體ノ方ヲ進メテ行キマシタナラバ、本案ガ進マヌモノト見レバ免ニ角デアリマスガ、サウ云フ宣言ヲ爲サヌ前ニ、取引所ノ方ノ質問ヲ爲サテハドウデスカ。

○川原委員長 是カラ取引所ノ方ノ質問ニ移リマス、通告順ニ依テ發言ヲ許シマス。

○鈴木委員 私ハ主トシテ株式取引所ト云フ立場カラシテ質問ヲ致シマス、今度ノ改正案ノ作成ニ付キマシテハ、農商務省ノ當局者其他學者等ヲ以テ、調査會ヲ設ケテ作成

シタ所ノ案デアリマス。ドウモ此學者側ノ方ヲ少シク調査シテ見マス。ト云フ。取引所ニ關シテノ知識ト申シマス。免角歐米ニ於テトカ、或ハ倫敦市場デアルトカ、或ハ紐育市場デアルトカ云フコトヲ振廻シテ居ル、私ハ實際ニ伺テ來タ事ニ依ルト、倫敦ノ取引所ニ臨ンデ實地觀察ヲシタ。云フ人ハ、現在ノ高橋首相、添田壽一君、織田昇次郎君外一二名ニ過ギナイト云フコトデアリマス。ソレデアリマスカラ、ドウモ倫敦ニ於テトカ、紐育ニ於テトカ、歐米ニ於テトカ云フコトヲ振廻シマス。ケレドモ、餘リハ當テニナラヌ事ガアルヤウニ思フ。デモ、トモモ上論ト云フ。翻譯論ト云フコトニ傾イテ居リハセヌカト思フ。モウ一ツハ世間デモ取引所ニ關シテハ餘リ智識ヲ持テ居ラヌト思フコトハ、豫テ斯ウ云フコトヲ世間デ言フテ居ル、本院ニ於テモ或人ガ、大臣ガ株式賣買シタカラ、財界動亂ノ端ヲ發シタト云フ發言ヲサレタ方モアルシ、又財界ノ景氣不景氣、今日ノ財界ノ情況ガ、大臣ノ責任デアルト云フコトヲ言フ論者モアル、之ニ謳歌シタ者モアル、是等ヲ見マス。ト大臣ガ株式賣買シヤウトドナタガ株式賣買ヲシヤウト、取引所ヲ破壞サレコトハナイ、然ルニ其等ヲ一向差支ナイモアル、立派ナ意見デアルト云フヤウニ信ジテ居ル者モアリマス。其等ヲ見マス。ト如何ニ此株式市場ナ取引所ナリト云フコトニ關シテノ智識ノ淺薄デアルト云フコトガ能ク分ル(ノウ)所デ一ツ尊重スベキ事ハ、此取引所ノ當局及仲買人、其他當業者及株式賣買ヲサレレル、ノウ、ト言ハレタ人モ、此中ノ部類ニ屬スル方ト思フ。テ私ハ敬意ヲ表スル。所デ總テノ法律案作成、其他ニ付テハ、當業者ノ意見ヲ尊重シ、當業者ニ先以テドンナモノデアラウカト云フコトノ意思ヲ伺ヒテ見ルト云フコトガ必要デアル、法律案ニ付テハ法律家ニ伺フト云フノハ當前デアル、所ガ取引所法作成ニ付テハ、此取引所ノ仲買人、或ハ從業者ノ意思ト云フモノヲサバリ聽カナカッタト思フ(其點ニ付テハヒヤ)ト呼フ者アリ)私ノ說明ニ對シテ「ヒヤ」ト云フ人ハ之カラ起ルト思フ、今ノ所デハ分ラヌ、豫テ此案ニ付テ當業者ノ意思ヲ伺ヒマセヌ爲ニ、當業者ハドウナルデアラウカト云フコトハ、五里霧中ニ迷テ居タノデアリマス。併シ段々此案ノ作成ヲ致シマシテ、當業者ニ先以テ非公式ニ內示サレタト云フコトハ、其點ハ宜カッタノデアリマス。大體當業者ト云フ者ノ意思ヲ餘リ聽カナタ爲ニ、此案ガ貴族院邊リデ大分延ビタノモ、サウ云フ點カラデアラウト思ヒマス、免ニ角當業者ノ意見ヲ、サパリ此案ノ作成ノ爲ニ用キナカッタト云フコトハ殘念デアリマス。ソレニ付テ御伺シタイノハ、ソコデ私ハ紐育ヲ振廻サナケレバナリマセヌガ、彼方ハ取引所法ノヤウナ重大ナ案ガ出マス。ト、特別委員ヲ設ケテ、其委員ト議會ノ特別

委員トヲ以テ、能ク意見ノ疏通ヲ圖ルト云フコトデアリマス。カラ、其仲買人ノ利害休戚ニ關スル此法ノ作成ニ付テハ、少シ私ハ遺憾ノ點ガアッタト思フ。デアリマス、斯ウ云フ點カラ見マシテモ、ソレデモウ一ツハ、一説ニ依レバ斯ウ云フ事ガアル、一體當業者ヲ入レルト、株式ノ市價ニ變動ヲ及ボシテ困ルカラト云フコトニ伺ヒテ居リマス。ガ、若シサウ云フ事デアリマス。ト、是ハドウモ一寸矛盾シタ點ガアル、ソレハ何故カト云フ。ト、會員組織ニシヤウ、出來得ル限り早クシナケレバナラヌ、當業者ノ人格ヲ認メテ行キタイト云フノガ本義デアラウト思フ。デアリマス、然ルニ此案作成ニ付テ當業者ガアッタナラバ直ニ其意思ガ漏レテ、ドウモ本案作成ノ爲ニ株式ノ市價ニ變動ヲ及ボスコトニナル、漏ラス者ガ株式當業者、其他ノ當業者間ニアルト云ヘバ、至ッデ人格ノ低イヤウナ人格ノ低イ者ハバマスガ、私ハ當業者ハ決シテサウ云フヤウナ人格ノ低イ者バカリデハナイ、秘密ハ十分守ル人ガ澤山アルト思フ。デアリマス、ソコヲ御認メニナテ、會員組織ト云フコトニ御決定ニナタト思フ。デアリマス。ドウモ市價ニ變動ヲ及ボシテ困ルト云フヤウナ考デハ、少シ御考ガ間違テ居リマセヌカ、要スル第一ノ質問ハ何故ニ當業者ヲ加ヘナカッタト云フコトヲ伺ヒマス。ガ、モウ一ツ伺ヒタイノハ農商務省ノ方デモ此所ニ御列席ノ次官、局長サンハ、此途ニ造詣ノ深イ方デアリマス。ドウモ其他ニハ智識ノ淺薄ナ方モ少クナイノデアリマス。ガ、豫テ仲小路サンガ農商務大臣ヲシタ時分ニ、米屋征伐ヲヤテ、大ニ米ノ調節ヲ圖ラウトシタケレドモ、米價ハ之ニ逆行シタト云フ歴史モアル、又有名ナ小口落禁止ノ如キモサバリ效能ガ無カッタ、ソレガ却テ誤リデアッテ、現政府ニナテ取消サレタト云フ歴史モアル、要スルニ農商務省ノ方デモサウ云フ尊重スベキモノハ尊重シテドウシテモ當業者ヲ第一ニ置カナケレバナラヌ、所ガ當業者ノ意思ヲ沒却シタト云フコトハ、此案作成ノ失態デハナカラウカト思フ、何ガ故ニ當業者ヲ除イタカト云フコトヲ伺ヒタイ、其次ニ伺ヒタイ事ハ、智識ノ淺薄ノ例トシテ舉ゲタイ事ハ、新聞ノ六頁、八頁、十二頁ニアル事ハ、是ハ國民生活ニ必須ナ智識ノ記載セラレタル所デアル、所ガ六頁八頁、十二頁ヲ能ク理解スル者ガ少ナイ、新聞ヲ取ッテタ刊ノ裏ヲ見ル者ハ先ヅナイノデアル、サウ云フ譯デアリマス。カラ、各方面カラ見マシテモ、當業者ノ意見ダケハ是非入レナケレバナラヌモノデアッテト思ヒマス、向ホ、次ニ伺ヒタイノハ、會員組織ノ變更ノ時期ニ對スル政府ノ所見デアリマス。ガ、種々質問ハ今後出マセウガ、此會員組織變更ノ時期ト云フ一點ニ質問ハ盡キルト思フ、會員組織變更ノ時期デアリ

スマグ、私ハ農商務大臣ノ言ハレル如ク、四十年來ノ歴史ヲ有スル株式組織ノ取引所ニ大シタ缺陷ヲ見ルコトハ出來ナイ狀態デアリマス。之ヲ何所マデモ發達サセテ、日本ノ特長デアリトシテ、世界ノ人ヲシテ之ニ由ラシムルヤウニ善導シ、指導シテ、強制擔保ノ取引所ヲ發達セタイト思フ。居ルノデアリマス。所ガ何デモカシテ一寸歐米ヲ巡遊シテ、直ニ其制度ヲ採用スルコト云フコトハ殘念デアリマス、或ル外人ノ如キハ、日本ノ株式組織ノ取引所ニ敬意ヲ拂フテ居ルモノアリマス、ソレハ措キマシテ、會員組織變更ノ時期ト云フコトデアリマス、之ヲ急激ニヤラレテハ困ルト云フコトハ、當業者ハ勿論又社會ニ種々ナル弊害ヲ生ズルコトハ、大臣、次官、局長ノ御聲明モアリマス。深ク信ジテ居リマス。此問題ハ十年後ニ實施スルハ此時期ノ問題デアリマス、此問題ハ十年後ニ實施スル十五年後ニ實施スル規定シテ置ケバ、當事者モ其方針ヲ以テ此次ハ致方ナシト云フ準備ヲ致シマス。唯タ空漠トシテ株式組織ヲ希望スル者ニハ之ヲ計ス、又新ニ出願スル者ハ會員組織ニスルト云フコトデアリマス。茲ニ私ハ大事ナ點ガアル、此法案ガ將來會員組織ニスルト云フ理想ヲ示ス。法案デアリナラバ物足ラヌト思フ、方針ヲ示ス磁石トスレバソレデモ宜イ、併ナガラ前原首相ガ普選案デス。云フコトノ御話ガアル、現在ノ選舉法ガ未ダ一回モ實施シナイ中ニ、變テ選舉法ヲ行フコトハイカヌト云フコトデアリマス。若シ方針ヲ示ス。法案デアリナラバ、誰モ出願スル者モ無カッタ、誰モ組織變更ヲスル者ガ無カッタ。更ニ一回モ實施シナイ中ニ又良イ方法ガアレバ變ヘルトナルト、此法ノ威信ガ駄目ニナルデハナシカト思フ、故二十年後カ、二十年後ニスルトシタラ却テ宜カラウト思ヒマス。其點ニ對スル御考ヲ伺ヒタイノデアリマス、其點ニ付テ急激ニナサラヌト云フコトハ御聲明ニナッテ居リマス。當事者トシテ不安ヲ感ジテ居リマス。其點ダケハ十分ニ政府ノ立場ヲ御示ス願ヒマス。

○田中政府委員 御答申上デマスガ、更メテ申スマデモナク、此法案ヲ編成スルニ付テハ委員會ヲ設ケマシテ、諸般ノ調査ニ從事致シマシタ、其委員中ニハ所謂當業者ナル者ヲ加ヘマセヌコトハ事實デアリマス、併ナガラ委員ガ調査スルニ當ッテ、當業者ノ意見ニ重キヲ置テ調査ノ資料ニ供シタ積リデアリマス、主ナル取引所ノ役員、其他取引所ニ付テ造詣ノ深キ、特ニ御意見ヲ持テ居ラル、方ハ、殘リ少ナク委員會ニ御出席ヲ願フ。御意見ヲ拜聴致シマシタ、其以外ニモ斯道ニ明ルイ方ガ居ラレマセウガ、免角モ吾々見聞スル範圍ニ於テ教ヲ請ヒタイ方々ニハ、多數御出席ヲ願フ。其御意見ヲ伺フ。デアリマス、其結果昨年此案ガ出來マシタ

時ニ、非公式ニ案ノ大要ニ付テ東西取引所ノ理事長ニ内示シテ意見ヲ求メタノデアリマス、其節多少御意見モアリマシタ。クレドモ、大體ニ於テ此提案ノ如クナレバ異議ハナイ、又昨年ノ如キハ仲買人ノ方々モ此案ノ通過ヲ熱望セラレタ位デアリマス、免角專門家ノ意見ヲ尊重シテ、歩ミヲ付ケテ此案ヲ編出シタモノデアルト云フコトダケハ、御承認下サルコト、存ジマス、今マデノ如ク役人ガ机上ニデ歐羅巴ノ書物ヲ見テ書イタヤウナモノデハナイノデアリマス、今年ニ至ッテ紛擾ノ起リマシタコトハ妙ナ一端カラ起テ、附帶事業ナルモノヲ即時ニスルカシナイコト云フコトカラ議論ガ起リマシテ、議論ノ結果去年同意シタ強制擔保ヲ止メルトカ、會員組織ガ不都合デアルトカ不都合デアナイトカ、元ニ適シ議論ガ出テ、昨年ト今年ハ天地相違スルヤウナ議論ガ出マシタ、其議論ハ去年ノガ宜イカ今年ノガ宜イカ別問題デアリマス、此案ハ政府ハ相當ノ注意ヲ拂ヒマシタコトハ事實デアリマス、此點ダケハ御含テ願フ。置キマス、而シテ此法案ニ付テ所謂根本的ノ議論ト致シマシテ、只今第二點トシテ御質議ノゴザイマシタ所謂會員組織ニスルトノ當否ハ、確ニ此案ノ根本義ニ關スル議論デアリマス、議論デアリマス。クレドモ、此法案ハ現在ノ株式組織ノ取引所ニ對シテ、強テ會員組織ニ改メヌデモ宜イヤウナ方法ノ途サヘ開イテアルノデアリマス、而モ其現在ノ株式取引所ヲ強制的ニ之ヲ會員組織トスルト云フヤウナ事ヲ致サウト云フ考モ持タズ、又法律デハソレハ無理デアル、出來マセヌノデアリマス、現在ノ株式組織ノ取引所ハ、株式組織ノ取引所トシテ尙ホ存置セントスルナラバ、爲シ得ルヤウナ事ニナッテ居ルノデアリマス、全ク此法案ノ目的トスル所ハ、出來ルダケ一日モ速ニ強制擔保ト云フモノヲ廢メテ、何所迄モ取引員トシテ取引ヲスルニ當ッテ、強テ取引所ノ擔保ヲ要シナイト云フニモ拘ラズ、取引所ガイヤハレ何所迄モ保證シナケレバナラヌト云ウテ、無理ニ何所迄モ進ンデ擔保ヲシヤウト云フコトハ、必要ナイ事ト云フ考ヲ持ッテ居リマス。サウシテサウ云フ事ハ株式取引所トシテ、一日モ早ク廢メルヤウニ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス。クレドモソレトモ取引所ガ強制擔保ヲ維持シテ行キタイト云フコトナラバ、現在ノ取引所ニ對シテ現在ト變ルヤウナ事ヲサセナイ、希望通り何時マデモ構ハナイト云フコトヲ、農商務大臣カラ繰返シ御説明ニナタヤウナコトデアリマス、況ヤ強制擔保ノ事ヨリ更ニ一步進ンデ、會員組織ノ取引所トスルト云フガ如キニ至ッテハ、此法案ハ決シテ強制スルヤウナ考ハ持ッテ居リマセヌ、其點ダケハ御安心下サレテ宜イコト、明瞭ニ御答致シマス。

○鈴木委員 能ク諒解致シマシタ、モウ一ツ伺ヒマス、強制擔保ノ銘柄ヲ撤廢シタ者ニハ附帶事業ヲ許ス、斯ウ云フコトデアリマス、是ハ實際問題ニ於テ、取引所側ト聽テ問題ガ生ジハシナイカト思ヒマス、其點ニ付テノ御考ヲ一寸伺ヒタイ、ソレハ現在取引所ハ三月デアル、定期ノ方ハ三月デアリマスガ、定期ヲ撤廢スル爲ニハ、三月掛ラナケレバ撤廢ハ出來ナイ、先物、當中ト斯ウ掛テ居リマス、所ガ之ヲ撤廢スルニ、先ヅ先物ヲ取外シテ商ヲシナケレバナラヌ、其次ニ當切ダケヲ商シテ行カケレバナラヌ、是ニ於テカ初テ三月デ株式組織ノ下ニ於ケル強制擔保ヲ撤廢サレル、斯ウ云フ事ニナル、所デ當中ニナツタ時分ニハ、實際ハ新規商ト云フモノハ餘リ無イ、新規商内ガ有リマセヌカラ、取引所側トシテハ、任意擔保ノ方ニ移シテ行クヤウナ建株ニ付テハ、免ニニ流行兒トカ窮兒トカ云ハレルヤウナ株ノ銘柄デアリマス、其銘柄ヲ二月ノ間定期ノ方デハ殆下遊ンデ居ナケレバナラヌ、斯ウ云フ事ニナリマス。此二月ノ間ハ收入減ヲ著シク感ズル、ソレガ十種類モ二十種類モ定期ヲ撤廢シテ行クト云フコトニナリマス。收入減ヲ感ジマス。此點ガ取引所側ノ方モ考ヲシタカドウカ伺ヒマセヌクレドモ、聽テ收入ニ困ルカラソレヲ大目ニ見テ貰ヒタイ、新規賣買ヲ中止シタラ、直ニ附帶事業ヲ許シテ貰ヒタイト云フコトニナリハシナイカト思ヒマス、ソレニ付テ一寸御考ヲ伺ヒタイ。

○田中政府委員 御答ニ當ルカドウカ知リマセヌガ、不足ノ點ハ何レ外ノ政府委員カラ補充致シマス、所謂附帶事業ト云フノハ、取引所ニ於テ取引ヲシタモノニ付テ、先ニ金ノ欲シイ者ニ金ヲ貸シテヤル、株ノ欲シイ者ニ株ヲ貸シテヤル、斯ウ云フ意味デ出來テ居ル、其以外ノモノハ附帶事業ニナラナイ、ソレデアリマス。先物ニ付テ附帶事業ヲ營ミタイト思ヘバ、其先物ノ強制擔保ヲ廢メサヘスレバ其附帶事業ガ出來ル、斯ウ云フ譯ニナル、唯タ附帶事業ト、強制擔保ト同時ニ同ジ物ニ付テスルト云フコトハ宜シクナイ、斯ウ云フ趣意デアリマス。只今御心配ノヤウナ事ハ無イデヤナイカト思ハレマス。クレドモ、實際ノ取引ノ事ハ疎ウゴザイマスカラソレデ御満足ガ行カケレバ外ノ政府委員ヨリ御答致シマス。

○鈴木委員 ソレハ諒解致シマシタ、併シ私ハ法規ノ事ハ分リマセヌクレドモ、マダ當切ニ掛ッテ居ル以上ハ——イヤ分リマシタ。

○川原委員長 次ニ武内君デスガ、大臣ガ出席セラレナイト……

○武内委員 私ハ大臣ノ出席ヲ要求致シマス。

○藏内委員 大體本案ノ改正ハ三ツニ別テ居ルヤウデアリマス、第一ハ是迄三月ノ定期ヲ二月ニ改メ、延取引ト云フ名目ノ下ニ、七日間ノ期限ヲ定メテ取引ヲスルト云フ事ト、ソレカラ取引所ノ會員ト云フ名目ヲ——是迄ノ仲買

人ト云フ名目ヲ取引引所トスル、其外ニ段々御話ガアリマシテ、私等モ大ニ質問ヲ試ミタイト思ヒマスガ、會員組織ノ豫言デス、政府ノ此豫言ニ付テ御説明ヲ承リタイト思ヒマス、第一ニ三月二日ニ改メマシタ點ハ、只今鈴木君カラ御尋ガアリマシテ、又政府委員ノ御説明ヲ承リマシタガ、是ハ政府委員ノ御説明ノ如キ譯ニハ參リマセヌ、ナゼト申シマスルト、今鈴木君ノ御説明ニモゴザイマシタヤウニ、新規賣買ト云フモノハ、當切、中ノモノニハ殆ド貪レルダケ食テ、ソレ以上ハ買戻轉賣ヲ主トスルノミデアッテ、此一日ニナリマスと云フト、此新建ト云フコトハ、有力ナ御方ガ三箇月ノ思惑ヲ立テ、時勢ノ變轉ヲ考ヘテ、經濟界ノ事ヲ考ヘマシテ、此三箇月先ノ例ヘバ四月ノ一日カラ四、五、六月ノ三十一日ニ期限ニナリマスルモノヲ心掛ケテ、有力ナル人ハ皆ナ之ニ持ッテ行ッテ、思ヒ々々賣ラウト云フ人ハ賣リ、買ハウト云フ人ハ買ハウト思ヒマス、サウシテ此先ノモノノ取込ガ出來マスと云フト打切り、茲ニ限月ニ依リ買戻轉賣ヲスル、或ハ現物受渡ヲスルト云フノ今日マデノ習慣デアリマス、之ヲ二箇月ニ改メマスルト云フ政府ノ御考ニ付キマシテ、此邊ニ如何ナル御利益ガアルカ、又如何ナル國民ニ對シテ便利ヲ與ヘルデアリマセウカ、又害ガアルモノト云フコトノ御研究ハ十分出來テ居ラレルコト、信ジマス、デ私達ノ考ニ依リマスと、是マデ無カッタ取引引所ト云フモノノ出來、現物賣買ヲシテ品物ヲ受取デカラ金ヲ渡スト云フ三通リガ出來ル、此延取引引所ト云フモノノ更ニ拵ヘ、限月取引引所ト云フモノハ、是非公式デアッテ、之ヲ今度政府ガ公然ト現取引引所ト延取引引所ト云フコトニナリマスレバ、寧ロ此二箇月ヲ四箇月ニスベキ筈ノモノト私ハ信ズル、是マデ現取引引、延取引引ト云フモノ一週間以内ニ大金ノ取引引ヲスル方法ハ、ソレノ出來ヌ時デサヘモ、三箇月ヲ長ク許シテ來マシタ、又絲ノ如キモノハ棉絲ハ六箇月、生絲ハ二箇月ト云フ規定モゴザイマス、之ヲ何ヲ苦シデ延取引引モ直、現取引引モ公然ト御許シナリマシテ、其上下ニマダ三箇月ヲ二箇月ニ縮メルト云フ御趣意ハ何所カラ出タノデアリマスカ、相當ナ理由ガナケレバナラナイト私ハ信ジマス、私ハ此理由ヲ詳シキ承リタイト考ヘマスル、ソレカラ此取引引所員ト云フモノハ唯ダ名目ヲ——仲買人ノ名目ヲ取引引所員ト改メラレタコトニ付、外ニハ何モ意味ハゴザイマセヌカ、是モ御尋致シタイ、ソレカラ此會員組織ト云フモノハ只今鈴木君ノ御質問モアリマシタガ、是ハ大臣ノ説明モアリ、其他取引引所ノ理事邊リノ御説明モアリマシタ、是マデノ事柄カラ考ヘマスと云フト、全ク會員組織ト云フ名目ハ今度ノ改正ニ於テ置タケレドモ、決シテコッチカラ強テソレヲ實行スルヤウナコトハ、當分サレナイト云フコトデゴザイマスガ、是ハ何時ノ時代ニ行フベキモノデアルカ、

何時ノ時代ニ人民ガ之ヲ好シデ會員組織ニシタイト云フ時機ガ來ルカト云フコトハ、是ハ未定デアリマス、デ何時來ルカ其未定ノモノヲ、故ラニ會員組織ヲ今行ハレヌト云フモノ此所ニ記スト云フコトハドウ云フ御趣意デアルカ、政府ト云フモノハ其時々々ニ差支カアレバ、勅令モアリ、其他議會ニ諮ラテ如何ナル事モ出來ル、ソレガ十年先カ二十年先カ未定ノモノヲ茲ニ名目ダケヲ出サナケレバナラヌト云フ御趣意ハドウ云フ御趣意デアルカ、是ハ御承知デアリマセウカ、株式ト云フモノハ東京ト大阪トダケデモ二億圓カラノ掛金デアリマス、二十五圓拂込ノ新株ガ只今何ボシテ居リマス、カ、百十圓カラ百二十圓、甚ダシキハ百五十圓デアリマス、サウ云フ所ノ處分ハ如何ナルカ、此邊ハ御考ニナッテ居リマス、株ニ於テハ政府ガ壓迫シテドウ云フコトニナリマセウカ、出來得ベキモノデハナイ、斯ク出來得ベキモノデハナイモノヲ、茲ニ故ラニ會員組織ノ名目ヲ御出シニタルト云フ御趣意ハドウ云フ譯デアルカ、是ハ其時ニ人民モソコニ氣ガ移ッテ、政府モ御同意ニナッテ、其時ニ置ケバ宜イデアリマセヌカ、是ハ絕對ニ政府ノ方針ガ間違デアリマス、此「會員組織」ト云フ文字ハ、速ニ御取消ニナルコトニシテ戴キタイ、又ソレガ出來ナイ、一旦貴族院ヲ通過シタモノデ出來ナイト云フナラバ、年限ヲ御定メニナッテ、其年限ニ付テハ種々ノ議論モゴザイマセウカ、サモナクバ取引引所全體ガ連調ヲシテ、只今ガ時期デアルト舉ッテ請願ニ來ルナラバ免モ角モ、今回ノ如キ粗漏ナル御調デハイケマセヌ、關係者全體カラ調印ヲシテ、今ガ時期デアルカラ會員組織ニテ下サレト云フ請願ヲ待ッテ、實行サシヤレバ、茲ニ實行モ出來ヌ、實行スベキ政府ノ御決心マセヌケレバ、茲ニ實行モ出來ヌ、實行スベキ政府ノ御決心ハ無イモノヲ威シ文句デ書イテアル、是ハ甚ダ宜シクナイ、是ハ政府委員ハ實地ヲ御承知デアリマセヌカ、茲ニ吾々ニハ四十何名ノ調印ヲシテ反對デアルト云フ書面モ出デ居リマス、是モ御參考ニ申上ゲマス、決シテ政府ガ此會員組織ヲ取引引所ニ諮ラテ、取引引所ノ得心ヲ得テ承知シタノデアリマセヌ、絕對ニ反對デアルトデアリマス、ドウシテサウ云フコトヲ御考出シニナッテ、威シ文句ヲ御使ニナリマシタカ、中々取引引所ト云フモノハ御承知ノ通り、神經過敏ナ——是ハ人ガ資産ヲ抛テ取引引所トデアリマス、ソコデ農商務大臣ガ或席ニ於テハ斯ウ言ッタ、サウ言ウタ、ヤレ農商務省ノ委員ガ斯言ウタ、サウ言ウタト云フヤウナコトカラ、矢張數ヘ立テ、色々ナ善惡雙方ノ定期ノ材料トシマス、是ハ中々取引引所ト云フモノハ神經過敏ナ所デ、洵ニ是ハ大事ナ事柄デゴザイマシテ、種々是マデ私共ノ見聞致シテ居リマス所デハ、色々ノ大臣ヤ農商務省ノ役人ガ、相場ハ爲サラヌデゴザイマセウ、御自身デハ爲サラヌデゴザイマセウ、内緒デ爲サルデ

ゴザイマセウカ、色々ナ方面デハ大分絲ガ引張ッテ、賣レトカ何ト云ヘバ賣ル、ト言ヘバ言ハレル、ソレデ此會員組織ノ如キハ經濟界ヲ非常ニ狂ハセタ問題デアル、我ガ取引引所株ガ百三十五圓マデ行ッテ居タモノガ、會員組織ガ貴族院デ論議ニナリマス、九十八圓マデ下リマシタ、何ノ爲メデアルト云フト、此會員組織ト云フコトガ非常ニ威シ文句ニナッテ、此用モ無イ今行ハレモセヌモノヲ出シテ振廻シテ、相場ノ上ゲ下ゲノ懸引ニシタト云フノハ以テノ外デアル、サウ云フ事ハ爲サルマイガ、シタト云ハレタラドウデス、セヌト云フ證據ガ立チマスカ、此過敏ナル取引引所ノ問題ヲ何時ノ時代ニ決メルカ分ラヌモノヲ前カラ出シテ振廻シテ、色々ナ相場ノ懸引ニ供スルト云フコトハ、内閣トシテサウ云フ事ハ有ルベキ筈ノモノデナイ、一體農商務大臣ハ不謹慎デアル、何所ノ席上デ斯様ナコトヲ言フ、何所ノ席上デ斯様ナコトヲ言フト云フ如キハ、不謹慎ノ甚シキモノト本員ハ信ジマス、免ニ角會員組織ト云フモノハ、關係者全體カラ行フベキ時期デアルト云フ請願ヲ待ッテ實行スルコトニ修正ヲ致シタイト思フ、政府ノ御同意ヲ求メマス

○田中政府委員 藏内君ハ少シ立法ノ趣旨ト現行法トニ付テ御取調落ガアルト思ヒマス、取引引所ト云フモノハ或ハ會員組織トナリ、或ハ株式組織トナリ、何方ゾモ宜シイト云フコトガ現行法ニアルノデアリマス、決シテ今度新タニ農商務省ガ會員組織ト云フ珍ラシイ名前ヲ持ッテ來テ、威ストカ欺ストカ云フ意味ハ少シモ無イ、而シテ會員組織ト株式組織ト何方ガ好イカト云フコトハ、色々ノ事情ニモ依リマス、時ノ狀態ニ依ルト思ヒマスケレドモ、取引引所ニ對シテ隨分世間カラ非難ガアルノデス、取引引所ノ現在ノ儘ニシテ置イテハ宜シクナイ、種々ナル弊害ガアルカラ、之ヲ改正スルニ付テハ、ナラヌト云フコトハ多年ノ問題デアル、其改正スルニ付テハ、種々ナル方面カラ之ヲ改正シナケレバナラヌト思フケレドモ、其改正ノ一部ニ株式組織ノ取引引所ヨリハ、會員組織ノ方が宜カラウト云フ議論ガアルノデス、即チ今日ノ弊害ノ因ッテ起ル大ナル源ハ、會員組織ノ取引引所デナクシテ、株式組織ノ取引引所、即チ取引引所員ト其株ヲ持ッテ居ル人ト利害ヲ異ニシテ、ソレガ爲ニ起ル弊害ガ多イト云フ議論ガアル、議論ノ當否ハ別トシテ、サウ云フ議論モアル、今度委員會ニ於キマシテモ、矢張取引引所ト云フモノハ株式ヨリハ會員ノ方ヲ希望スル、其方が宜シイト云フ議論ニ一決シタノデアリマス、併ナガラ現在アリマス所ノ株式組織ノ取引引所ヲ、會員組織ニ改メルト云フ法文ハ無イノデアリマス、唯ダ會員組織ノ取引引所ト云フモノハ、取引引所トシテ理想ノモノニ近イカラ、成ベク其方ニ向ッテ進ンデ行ク人ノ爲ニ便宜ノ法ヲ規定シテ居リマス、併ナガラ強制シテ株式トモノヲ直グ會員組織

ニ變化サセヤウト云フヤウナサウ云フ法律デハナイノデゴザ
イマス、即チ其主タル問題ハ例ヘバ會員組織デナクテモ、現
在ノ株式取引所デモ強制擔保ト云フコトヲ廢メレバ、附帶
事業ヲシテモ宜シイト云フヤウニシテ、サウシテ取引所ノ方ニ
便宜ヲ與ヘテ、成ベク強制擔保ヲ廢スルト云フ方ニ進シデ
行カウ、尙ホ此際更メテ申上ゲマスガ、免角言葉ガ混同シテ
私共説明中ニ往々間違ヘマスガ、所謂現在ノ株式取引所
ノ弊害ト云フコトハ、會員組織ト云フ言葉デ表ハスヨリハ、
強制擔保取引所ニ於ケル所ノ違約ヨリ生ズル一切ノ責任
ヲ、取引所ガ負擔シナケレバナラスト云フ強制擔保ト云フコ
トニ、弊害ガ萌シテ居ルコトガ多イト云フコトガ主タル理由
ニナル。故ニ強制擔保ト云フコトヲ廢メルヤウニシタイ、サウ
スルト取引ハ仲買自身ノ直接ノ負擔トナル、各、責任ヲ以
テ、賣買取引ヲスルコトニ重キヲ置クコトニナルカラシメテ、仲
買人ト云フ者ノ自分モ信用モ高マデ來ル、今デアリマシテ、仲
買人ハドウデアラウト、他ニ大キナ取引所ト云フモノガ保
障シテ居ルカデアラウト云フヤウナ弊ニ陥ル虞ガアル、デン
レガ弊害ノ一ノ原因ヲ成ス、斯ウ云フ事が委員會ノ決議デ
アル、又農商務當局ニ於テモ、ソレヲ相當理由アルモノト認
メタト云フコトニ歸著スルノデアリマス、隨デ會員組織ト云
フヤウナ新規ナモノヲ擔出シテ來テ、無理ニ現在ノ株式取
引所ヲ強制のニソレヲ引直スト云フコトハ、毛頭考ヘテ居ラ
ズ、又無論法律ノ何所ニモ無イノデアリマス、現在ノ法律ガ
株式組織、或ハ會員組織ヲ何等ノ差別ナク見テ居リマスカ
ラ、會員組織ノ取引所ヲ作ルニ色々不便ナ規定ガアル、ソ
レデアルカラサウ云フモノヲ除キマシテ、成ベク會員組織ノ
取引所ヲ作ルニ便利ナヤウニ致シマシテ、主義方針トシテ
會員組織ノ方ガ宜イト云フ精神ヲズツト表ハシテ居リマスガ
併シソレヲ強制のニスルコトハ無イト云フコトヲ願ッテ置キ
マス、ソレカラ仲買人ヲ取引員ト改メタニ付テ、深い意味デ
モアルカト云フ御話デスカ、是ハ既ニ御説明申上ゲタト思ヒ
マスガ、極テ簡單ナ事デアリマス、仲買人ト云フコトハ免モ
角今日マデノ事情歴史ノ上カラ、何トナク一面ニ於テ面白
カラヌ意味ヲ含ムヤウニナリ、仲買人ト云フ看板ヲ掛ケルコ
トヲ嫌フヤウナ形跡モゴザイマスカラ、此度ノ改正ヲ機トシ、
之ヲ取引員ト云フ極ク普通ノ名前ニ改メタト云フニ過ギマ
セヌ、少々神經のカモ知レマセヌガ、何モ深い意味ハアリマ
ス、今一ツ限月ヲ短クシタト云フコトニ付テ、大分議論ガ
アルヤウデアリマスガ、是ハ確ニ色々ナ議論ノアルコトハ當局
ニ於テモ承知致シテ居リマス、併ナガラ元々取引ニ付テ期
限ヲ設ケルト云フ根本義ハ、是ダケノ期限ヲ設ケテ置カナケ
レバ、色々取引ノ上ニ於テ相當ノ不便ヲ來スカラト云フ相
當ノ理由ガナケレバナラス、ソレデ商品ノ如ク或ハ賣ナリ買

ニ致シタイト思フテ、當局ニ於テモ色々考慮シテ居ル次第デ
ゴザイマス

○渡邊委員 議事進行ニ付テ申上ゲタイ、此際休憩致シ
マシテ、二時カラ始メテ戴キタイ、一時間許リ間ヲ置キマシ
テ、實ハ參考書ナドモ只今貰タバカリデアリマスカラ、之ヲ
一時間位讀ミマシテ、サウシテ會ヲ開キマシタラ餘程質問モ
少ナイト思ヒマスカラ……

○川原委員長 サウスル積リデス、暫時休憩致シマシテ、
午後二時ヨリ始メマス

午後零時二十五分休憩

午後二時十九分開議

○川原委員長 開會シマス、午前ニ續イテ取引所法改正
法律案ノ委員會ヲ開キマス

○藏内委員 田中次官ニ私ノ質問ニ對スル御答ヲ願ヒタ
イノデアリマスカラ、田中次官ニ御出席ヲ願フテ質問シタイ
ト思ヒマスケレドモ、據ロナイ御差支ガアルト云フコトナラ是
以テ已ムヲ得マセヌ、已ムヲ得マセヌ、兎ニ角先刻カラ田中サ
ンノ御説明ノ中ニモ、會員組織ト云フモノハロデハ今行フノ
デハナイト云フコトヲ仰シヤルガ、良心ニハ之ヲ出シテ置イテ
成ベク早く實行シヤウト云フ頭ガアルモノデアルカラ、頻リニ
辯解メイト御説明ガアリ居リマシタガ、何年先ニ行フカ分ラ
ヌ事ヲ——威シ文句ト云ヘバ語弊ガアルカモ存ジマセヌケレド
モ、私ノ考デハ全ク威シ文句ト考ヘテ居リマス、一體會員組織
ト云フモノ、利害ノ點カラ申スト、東京ト大阪ノ取引所ダケ
新舊ノ取引所株ノ價格ニシマシテモ、二億圓程ニナッテ居ル、其
他日本中ノ各所ノ取引所ノ株ヲ集メタナラバ、何レ三億圓
以上ニモナルト考ヘマス、左様ナ事デ四十年來確實ニ株式組
織デ實行シテ參シテ居リマス、偶、ニハ一年ノ中ニ一回ヤ二回
多少ノ混亂モゴザイマスガ、敢テ破産ヲスルヤウナ事ハ餘リゴ
ザイマセヌ、又若シ經濟上ノ爲ニ廢メルヤウナ事ガアリマスレバ、
アトニハ相應ナ株金ヲ出シテ受繼イデ行クコトガ日本ノ習慣デ
アリマス、此會員組織ト云フモノハ、全ク取引所部内ニモ反對
者ハ無イト云フヤウナ御意嚮モゴザイマスガ、是ハ極ク僅カ
ナ一部分ノ上位ニ居ル人方ノ言フコトデアルト信ジマス、金
ヲ澤山持ッテ、位地ノ好イ人ハ、或ハ會員組織ヲ名譽上好
ムカモ知レマセヌケレドモ、中流以下ノ人ハ、決シテ會員組
織ヲ好ム者ハ恐ラク一人モアルマイト思ヒマス、會員組織ト
云フコトニナルト、其人格ト資本トガ同一ニ均一ニナラナケ
レバナラス、多少ノ差ハアルカモ知レヌガ、凡ソ先ヅ上流ノ資
産ノアル人ヲ選ンデ、サウシテ資産ト人格トガ伴ウテ、殆ド
餘リ劣リ優レノナイヤウナモノヲ選バネバ、會員組織ハ中々
ヤリ難イダラウト思フ、ソレヲスルニ付テハ、今迄ノ株式組織

レドモ、行ハレナイヤウナ規定ガアルノデアリマス、例ヘバ會員組織ノ取引所ニ於テハ、其會員ハ客ノ委託ヲ受ケテ賣買ヲスルコトハ出来ナイ、或ハ其會員ガ役員ニナレバ賣買ヲムツカシイ規定ガ會員組織ニ置イテアルノデアリマス、ソレ故ニ法律上ハ會員組織ノ途ガ開ケテ居リナガラ、實行ハ出来ナイト云フヤウナ方法ニテ、テ居リマスガ故ニ、是等ノ途ヲ開ク爲ニムツカシイ規定ヲ取除イテシマシテ、新ニ會員組織ノ出来ルモノニ付イテハ、ソレヲ行ヒ得ル途ガ開ケタノデアリマス、何等新シク會員組織ノ途ヲ開イタノデアリマス、第二ニハ現在ノ株式組織ノ取引所ニ、會員組織ノ長所ヲ加味シタノデアリマス、此點ガ或ニ世人カラ誤解ヲ招ク理由ノ一ツニナリテ居ルカモ知レマセヌガ、何等サウ云フムツカシイ規定ハ無イノデアリマス、唯タ強制擔保ノ問題ガ一ツト、ソレカラ商議員ノ規定ガ一ツデアリマス、是等ノ點ハ會員組織ノ好イ所デ、株式組織ノモノニモ加ヘテ行カウト云フ意思デアアルノデアリマス、而シテ度々大臣、次官、及私共ヨリ聲明ヲ致シテ居リマス通り、サウ云フ途ハ開イテアルガ故ニ直ニ株式組織ノ取引所ト云フモノヲ、會員組織ニ改メテシマウト云フ考ハ持ッテ居ルノデアリマス、若モ取引所ガ進シテ自ラ其方法ヲ採ルト云フナラバ、其時ニ許スト云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、何等強制的ニ此方ノ方カラ進シテ株式組織ノ取引所ヲ、會員組織ノ取引所ニセヨト云フコトハ致サヌ積リデアリマス、又法律ノ文面カラ云フデモサウ云フ文面ハ何モ無イ先刻是ガ勅令カ何カサウ云フコトヲヤツテ、急轉直下ノ勢ヲ以テ、會員組織ニ變ヘテ行クト云フノデアラウト云フ御言葉ガアツタガ、サウ云フコトハ斷ジテアリマセヌ、度々大臣ヨリ仰セラレテ居ル通り、強制擔保ヲヤリタイト云フノナラバ、何時デモ之ヲ許スト云フコトヲ聲明シテ居ルノデアラカラ、此點ハ誤解ノナイヤウニドウカ諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ政府ガ此度此會員組織ノ制度ヲ造リ、又會員組織ノ長所ヲ普通ノ株式組織ノ會社ニ加味シヤウト云フコトニ致シマシタノハ、何等外國ガヤツテ居ルカラソレガ、宜シイト言ヒ、直ニソレヲ採ルノデアリマス、是ハ御承知ノ通り、一昨々年デアリマシタカ、此議會ニ於テモ取引所制度ト云フモノハ、何トカ改正ヲシナクテハナラヌト云フ所カラ致シマシテ、改正ノ委員會會ヲ開ク費用ヲ請求致シマシテ、兩院ノ協賛ヲ得マシテ其費用ヲ得テ、委員會ヲ造リテ慎重審議ヲ致シマシタ結果、斯ウ云フ制度ヲ採ル方ガ宜イト云フコトニナッテ、始テ此案ヲ造ラゲタヤウナ次第デアリマス、當時ヨリ何トカ現在ノ取引所ト云フモノハ弊害ヲ伴フカラ、改正シナクテハナラヌト云フコトハ御諒承ニナッテ居リタコト、信ズルノデアリマス、サウシテ吾々ノ側デハ必シモ外國デヤツテ居ルカラ、日本

ガヤツテ宜シイト云フノデアリマス、サウ云フ點ハ十分考慮致シマシテ、日本ニハ日本トシテ特別ノ歴史ガアリ、沿革ガアツテ發達シテ居ルノデアリマス、尙且ツ之ヲ改正シテ會員組織ノモノモ出来ル途モ造リ、又株式組織ノモノヲシテ會員組織ノ長所ヲ加味スルト云フコトガ、現在ノ日本ノ取引所ヲシテ圓滿ナル發達ヲセシメルニ於テ都合ガ好イ、其方ガ經濟上宜シイト云フ立場カラシテ、之ヲ考ヘテヤツタノデアリマス、何等外國ガヤツテ居ルカラ日本ガヤツタナレハナラヌト云フ、サウ云フ簡單ナ理由デアリマス、ソレカラ第二ニハ強制擔保ヲ廢メタナラバ、弊害ガ起リハシナイカト御懸念ノヤウデスガ、是等モ十分其點ニ付テハ考慮致シタノデアリマス、成程取引所ニ擔保ヲ出シテ居ル時ニハ、客ガ安心ヲシテ賣買ヲスルト云フ利益ハアリマセウケレドモ、其爲ニ取引所ノ市場ト云フモノガ種々ノ弊害ヲ受ケテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、即チ取引所ハ手数料ヲ取ツテ、サウシテ若シモ賣買ノ不履行カラ起ル所ノモノガアツタナラバ、取引所ガ賠償シナクテハナラヌガ爲ニ、取引所ハ常ニ此相場ト云フモノガ非常ニ激シク變動ヲ致シマシテ、取引所ノ賠償ノ責任ガ重クナルト云フコトニナリマス、口實ヲ造リテ立會ヲ停止スルト云フヤウナコトモ無イデアリマス、又仲買人ハ自分ノ賣買ニ對シテハ、徹底ノ責任ヲ負フト云フコトヲ原則トシナクテハナラヌニモ拘ハラズ、自分ノ不履行ノ責任ト云フモノヲ取引所ガ負ツテ居ルガ爲ニ、安心ヲシテ彼等ハ自分ノ資力以上ノ賣買ヲスルト云フコトハ免レヌノデアリマス、是等ノ關係カラ致シマシテ、ドウシテモ投機ト云フモノガ放漫ニ流レテ、賣買ト云フモノモ自然ニ投機ニ傾イテ行クト云フコトハ、是ハ自然ノ勢デアリマスカラ、利害ヲ能ク考慮致シマシテ、強制擔保ヲ廢止致シマシテ、取引所ノ互ノ信用ヲ基礎ニシテ行クト云フコトガ原則デアアル、又ソレガ一番弊害ガ少ナイデラウト云フコトヲ信ジテ改正ヲ致シタ次第デアリマス、勿論強制擔保ヲ廢メタト云フモノハ、取引所ガ擔保ヲスルコトガ宜シイト云フコトデアレバ、是ハ何時デモ許ス積リデアリマス、何等取引所ノ強制擔保ガイカヌト云フ考ハ無イノデアリマス、經濟狀態ニ於テ取引所ガ擔保シタ方ガ宜イト云フコトナラ何時デモ許ス考デアリマス、第三ニ取引所ハ擔保ノ責任ズベシタル其原則ヲ變ヘテ、認可ヲ經テ取引所ハ擔保ヲスルコトガ出来ルト云フコトニシタノデアリマス、而シテ万一取引所ノ方ニ於テ擔保ヲセヌコトニナッテモ、只今御述ニナッテ通り擔保ノ途ガ十分立ッテ居リマセヌト經濟上ニ惡影響ヲ與フルコトハ想像ニ難カラヌノデアリマスカラ、或ハ證據金トカ、積立金其他ノ方法ニ依ッテ賣買ノ擔保トスルコトナラバ、勿論考慮シテ居リマスガ、其等ノ方法ハ營業細則ノ規定ト或ハ定款等ノ規定ニ依リマシテ、農

商務大臣ガ認可ヲスル時分ニ十分取引所營業ノ人ト相談致シマシテ、適當ノ方法ヲ採ル考デアリマス、何等其間ニ之ニ依ッテ賣買ヲサセルト云フコトニハナッテ居リマセヌ、ソレカラ仲買人ノ名稱ヲ變ヘタノハ、唯タ名前バカリト云フヤウナ御考ノヤウニ伺ヒマシタガ、成程其點タケ御考ニナリマスレバ、名ノミヲ改メタヤウデアリマスガ、實際取引所ノ仲買人ト云フモノニナルコトヲ、今日好マナイ人モ相當ニアルノデアリマス、將來ドウシテモ名實共ニ善クシテ行クトニハ、此際一新シテ名モ改メ、名實共ニ善クスルト云フコトガ最も必要ト考ヘマシテ、名ヲ改メタ次第デアリマス、今日仲買人ノ地位ヲ向上セシメ、其信用ヲ高メテ行クトガ最も必要デアルト云フ輿論ニナッテ居リマスカラ、ソレヲ期スルト、共ニ名ヲ改メルノガ、一ノ手段デアルト考ヘタ次第デアリマス、ソレカラ限月ヲ短縮致シマシタ理由ハ、前ニ田中次官カラ御述ニナリマシタ通りデ、ソレヲ繰返ス必要ハナイノデアリマスガ、一體長期ノモノデアレバアル程、投機ト云フ事ガ行ハレ易イノデアリマス、近イモノデアレバ、割合ニ豫見ト云フコトガ易イノデアリマス、其點カラ言ヒマシテモ限月ヲ出來ルタケ短縮スルト云フコトガ必要デアルト思ヒマス、商品ニ依ラズ、株式ニ依ラズ、是等ノ期限ト云フモノハ、サウ長イコトノ必要モナイガ、又餘リ短キニ過ギルト實情ニ合ハスコトニナリマスカラ、實際ノ商品取引ニ必要ナル期間ヲ定ムルコトガ必要ト思ヒマス、ソレデ商品其他ニ付テハ相當ニ商習慣ヲ尊重シ、長ク延バスモノハ延バシ、短クスルモノハ短クシタイト云フコトニナリマス、三箇月ヲ二箇月ニ致シマシタノモ、何等是ガ三箇月デナケレバナラヌト云フ理由ハ無イノデ、此輸送ニ多クノ月日ヲ要スルコトハ無イノデアリマス、唯タ大阪ヘ持ッテ行クトカ、東京ヘ取寄セテ受渡ヲスルヤウナ事サヘ見テ置ケバ宜イノデアリマス、サリナガラ此三箇月ヲ一箇月ニスルト云フヤウナコトハ餘リ急激ナ變化ト存ジマシテ、二箇月ガ最も適當ト云フコトデアリマス、二箇月ニ致シタ譯デアリマス、先刻例ヲ舉ゲテ御述ニナリマシタ事ニ付テハ、私ハ知識ヲ持マセヌカラ其事ニ付テハ、何等御返答ハ出来マセヌガ、併シ先刻御話ノヤウナ投機ノ如キ事ヲ獎勵スル考ハ毛頭無イノデアリマス、出來ルタケ投機ヲ抑壓致シ、實際ノ受渡ト云フコトガ出來ルヤウニシテ行クト基礎トシテ居リマスケレドモ、併ナガラ相當ノ方法デアッテ、餘リ弊害ノ無イ投機デアレバ、サウ云フモノマデ差シメルヤウナコトハ宜シイト云フノデアリマス、要スルニデアリマスカラ、其點ハ宜シク御了承ヲ願ヒマス、要スルニ政府ハ取引所ノ圓滿ナル發達ヲ希望シテ居リマス、取引所ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ今日マデ發達シテ來テ居リマスカラ、其農商務大臣ノ手ニ依ッテ發達シテ居ル其取引所ト云フモノヲ、惡クスル考ハ毛頭持タヌノデアリマス、是

レ以上出来ルダケ善クシテ、其賣買ノ市場ヲ出来ルダケ理想のノモノニシテ、弊害ノ無イヤウニシテ行キタイト云フ吾等ノ願デアリマス、先刻ノ御意見ノ中ニ、取引所ノ株ガ廉クナルト云フ御心配アリマシタガ、其點ニ付テモ政府ハ十分ニ考慮ヲ拂ヒマシテ、成ベク強制擔保ヲ廢メテ、取引所ハ資本ヲ利用スル途ガ無イト云フコトニナツテ来ルト、自然先刻ノ御話ノ通り株式ノ價ガ廉クナルト云フ憂ガアリマスカラ、之ニ代ユルニ附帶業ヲ許シテ、取引所ハ將來此方面デ發達シテ行クト云フコトモ一ノ方法デアラウ、資本利用ノ轉換ノ途ヲ講ジテ行クノガ最も必要ト存ジマシテ、其等ノ點ヲ十分考慮致シマシタ結果、此第八條ニ附帶業ノ方法ヲ執ツタデアリマス、取引所ハドウナツテモ構ハヌ、株主ノ利益ナドハ關スル所デナイト云フヤウナ冷淡ナル考デアリナイデアリマス、十分其點ヲ考ヘマシテ、取引所ノ圓滿ナル發達進歩ヲ期シテ行キタイト云フノデ、本案ヲ提出シタノデアリマス、併シ之ヲ出シタカラハ、理ガ非デモ之ヲ以テ通サウト云フヤウナ考ハ持テ居リマセヌ、之ヲ調査委員ニ掛ケタト云フコトモ、豫メ皆樣ノ御承認ヲ得テ其御意見モ承リ、其委員會ニ於テ調査シタ結果ガ本案トナツタデアリマスカラ、是等ノ點ハ十分御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○藏内委員 只今政府委員ノ御説明デアリマスガ、是レ以上ハ互ノ見解意見ノ相違ニナリマスガ、政府デハ今度ノ此本案ニ依テ改メサヘスレバ、將來決シテ經濟界ニ攪亂ヲ及ボスヤウナ事ハ絕對ニ無イ、洵ニ良法デアルト云フ説明デアルガ、私ナドハ決シテサウ考ヘテ居リマセヌ、是ハ各、意見ノ見解ニナルコトデ、其邊ハ今後私共ノ杞憂シテ居ルヤウナ事ガ無イナラバ洵ニ結構デアルガ、若シシレガ生ジタナラバ、政府委員モ大ニ御考ニナルコトガ出来ヤウト思ヒマス、先ヅ其邊ハ意見ノ相違デアリマスカラ、ソレデ打切りマシテ、茲ニ毎度申シマスヤウニ、仲買人ヲ取引員ト改メル、是モ餘リ深イ意味モ無イヤウデアリマスガ、此取引員ト云フ文字ニ付テ、又是ハイツ行フカ、行フ時期モ定マラズ、容易ニ行ハルベキモノデナイト云フコトヲ政府モ確ク信ジテ居ラレル、是迄毎々農商務大臣ノ御言明モ各集會ノ時アツタデアリマス、先刻カラ前ノ取引所法ニモ委員ト云フコトハアルデハナイカ、成程アリマス、アルガ此改正案ニ今差當テ行ハヌモノヲ加ヘタト云フ意味ハ、仲買人ヲ取引員ト改メタヤウナコトデ、幾ラカ此邊ノ意味モ私ハ含マレテ居ルと思フ、極端ニ申シマスルト瞞著のノ案ト私ハ思フ、政府トシテハ實際行ハナケレバナラスト云フコトキハ、議會ノ協賛ヲ經テ一向差支ナイト思フ、此取引員デナク會員組織、即チ歐米各國ニ行テ居ルノハ、一定ノ委員ヲ拵ヘテ委員デ責任ヲ持テ、取引所ト云フモノハホンノ取引所ヲ賃錢デ貸スト云フヤウナ

仕組ニナルデアラウト思フ、其時ニナリマシタナラバ、株式組織ト云フモノハ若シ損害ノ影響ヲ受クルコトニナリマスレバ、政府ハ何等カノ方法ニ依テ償フコトガ出来ルカト存ジマス、ガ、免ニ角此神經過敏ノ經濟界ノ攪亂ヲ眼前ニ置キマシテ、サナキダニ所謂早耳トカ申シマシテ、株トカ米ナドハ非常ニ神經過敏ナ、矢張此邊ニ非常ニ疑ヲ起シテ居リマスルカラ、政府トシテハ此會員組織ト云フコトハ、ドノ程度迄改ムルカト云フ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ行ハレヌモノヲ以テ人ヲ脅スモノデナク、關係者全體カラ請願シテ、ソレデ適當デアルト云フ時ニ改メルノデアル、政府カラシテ決シテ強制的ニハヤラナイト云フ意味ヲ、何所ニカ現スト云フコトヲ政府デ御承認ニナリマスカリマセヌカ、是ハ意見ト思ヒマスカラ強テハ申上ゲマセヌ

○鶴見政府委員 先刻私ノ述べマシタ言葉ノ中ニ未ダ不足ノ點ガアリマシタカラ、御疑念ガアツタヤウデアリマスガ、先刻カラ申シマシタ通り、會員組織ハ現在デモアルノデアリマシテ、將來モ成ベク之ヲ行ヒタイト云フ積リデアリマス、度々御話ニナツタ如ク、急ニ行ハレモノナラバ書ク必要ガ無イデアリナイカト云フ御話デアリマスガ、政府ハ二ツノ途ヲ執テ居ルノデアリマス、會員組織デアリタイモノハ會員組織デ成ベク早クヤラセル、今日カラデモ改正ガ出来レバ直ニ行ウテ行キタイノデアリマス、又現在ノ株式組織ノ取引所ヲ繼續シテヤテ行キタイト思ヘバ、ソレモヤッテ宜シイ例ハ現在名古屋ニ於テ綿絲布ノ商ガ寄リマシテ綿絲布ノ會員組織ノ取引所ヲ拵ヘタイト云フ希望ヲ持テ居ラレルノデアリマス、是等ノ如キハ成ベク現行法ノ如キムヅカシイ會員組織デナクシテ、本當ニ會員トナツテ賣買ガ出来、效果ヲ舉ゲサセタイト云フ考デアリマス、將來サウ云フ會員組織デアテ行クト云フモノハ出来ルダケヤラセタイト思ヒマス、唯ダ現在アル取引所ヲ會員組織ニスルト云フコトハイカニデヤナイカト云フハ御尤デアリマス、ソレニ付テハ會員組織ハ嫌ダ、現在ノ儘デ續ケテ行カウデヤナイカト云フノハ、ソレモ許スノデアリマス、法律ノ明文ニ於キマシテハ、今申シマシタヤウニ兩様ノ途ヲ行クノデアリマス、重ネテ茲ニ聲明ヲ致シマスガ、現在ノ株式組織ノ取引所ガ會員ノ組織ハ嫌デアレ、現在ノ儘デ進ンデ行キタイト云フコトデアレバ、此法律ノ明文ニ依ツテ希望ヲ十分御貫徹ニナリ得ルト云フコトモ申上ゲテ置キマス

○藏内委員 只今ノ政府委員ノ御説明ニ付テ、今ノ株式ノ取引所ノ中デ、會員組織ト云フモノヲ拵ヘテ兩立スルコトヲ御認ニナリマスガ、ソレニ付テ少シ承リタイ

○鶴見政府委員 例ヘバ東京ノ株式組織ノ取引所ガ其儘存シテ居リマシテ、其中ニ一部強制擔保ヲシナイ取引所

爲スコトハ差支ゴザイマセヌ

○山邊委員 第一問ト致シマシテハ、幸ニ此改正取引所法案ガ通過致シマスルト云フト、確カ三年後ニ三年後ニ施行サレルト云フコトヲ聞イテ居リマシタ、非常ナ長足ノ進歩ヲ爲シツ、アル我ガ日本ノ經濟界ノ現狀デ、吾々一箇月二箇月先ハ、日本ノ經濟界ヲ豫測スルト云フコトハ固ヨリ不可能デアリマス、而モ三年先ニ施行スル此法律ヲ今御改正ニナツテ、是デ完全デアル、三年間ニ日本ノ經濟界ニドウ云フ變動ガ起ツテモ、最早改正スル必要ガナイト云フ御意思デアルカドウカ、之ヲ承リタイ、是ガ第一問デアリマス、ソレカラ第二問ハ現在ノ株式會社ノ取引所ハ成ベク此儘ニシテ置ク、是カラ以後ノ取引所ハ會員組織ニスルト云フ御意思デアリヤウニ承テ居リマス、サウシマスルト云フト、是カラ後出願ニ掛ル取引所ハ、總デ會員組織デナカッタ許サナイト云フ御趣意デアルカドウカ、之ヲ第二問トシテ伺ヒタイ、ソレカラ第三問ト致シマシテハ、偶、吾々ガ耳ニ致シマスレドモ、東京株式取引所ニ於テ上場サレテ居ル銘柄ノ中デ、東京株式取引所、及新株式ノ上程ヲ禁止シタイ、或ハ禁止スルト云フヤウナコトヲ耳ニ致シマス、ソレガ爲ニ本年一月十二三日農商務大臣ガ公開ノ席ニ於テ、東株ノ上場ヲ禁止スルト云フコトヲ御漏ラシニナツタ所ガ、外ノ株式ハ當時騰リマシタケレドモ、取引所ノ株ハ十圓内外下落致シマシタ、政府ノ御意嚮ト致シマシテハ、此東京株式取引所ニ於ケル東株、大阪取引所ニ於ケル大株、此當所株ヲ賣買スルコトハ永久ニ御認ニナリマスカドウカ、此邊ノ確ナ御意見ヲ伺ヒタイ、ソレカラ又第四問ト致シマシテハ、延取引所直取引所ヲ御認ニナツタ以上ハ、銘柄ハ現在ノ取引所ニ於テ上場サレテ居リマス總テ銘柄ヲ、之ニ依ツテ賣買シテモ差支ヘナイカドウカ、直取引、延取引ハ、矢張政府當局ノ認可ヲ受ケルニ非ザレバソレヤルコトガ出来ナイカ、詰リ主務官廳ハ、延取引直取引ヲ爲スノ制限ヲスルカドウカト云フコトヲ承リタイ、ソレカラ第五問トシテ昨年カラ問題ニナリマシタ東京證券交換所ヲ東京株式取引所ガ買收スルコトニ付テハ、證券交換所ノ株主ニ對シテ、現在十二圓五十錢拂込ノ新東株ヲ二萬株與ヘル、之ニ對シテ主務省ハ認可ヲ與ヘタト云フコトヲ聞イタ、其時ノ標準相場ヲ見ルト、新東株ハ百二十五圓デ、證券交換所ノモノガ二十五圓拂込デアラカ、東京株式取引所ノ新株ハ十二圓五十錢拂込デアラカ、東京株式取引所ノ新株ハ二萬株ヤレバ相當デアルト云フノデ、東京株式取引所ガ二萬株デケテ増資スルコトヲ認メマシタ、外ノ財産等ノ代價トシテ更ニ一萬株、合計三萬株ノ増資ヲ御許シニナツタ、今其新東株十二圓五十錢拂込ノモノハ目下百圓内外シマスル、サウスルト成程其當時ニ於テハ百二十

五圓デフタガ、今デハ百圓デアル、現在價格ノ上ニ於テ、少クトモ證券交換所ノ株主ハ五十萬圓ノ損失ヲ來シテ居ル、此損失ハ東京株式取引所ガ負擔スベキモノデアルカ、或ハ當然證券交換所ノ損失ニ歸スルモノデアルカ、此邊ノ御見解ヲ承リタイ、六問トシマシテ附帶事業ノ件、現在ニ於キマシテハ既ニ御承知デアリマセウケレドモ、東京株式取引所仲買人組合ト云フモノガ主唱ニナリマシテ、株式會社中央證券信託會社ト云フモノガアリマス、資本金一千万圓デ二百五十萬圓ノ拂込デアリマス、是ガ現ニ吾々ノ目撃スル所ニ依リテ見マスルト、直取引ノ決濟ヲシテ居リマス、詰リ取引所ノ或ル一部ノ仕事ヲシテ居ル、是ハ政府ガ豫メ御承諾ノ上、證券信託會社ガ直取引ノ決濟ノ事務ヲ取扱シテ居ルト云フコトヲ御認ニナシテ居ルカドウカ、此邊ヲ能ク御聽シタイノデアリマス、殊ニ先程藏内君カラ御話ガアリマシタ通り、此法案ガ上程サレマシテ貴族院ヲ通過スルトカシナイトカ、法案ガ到底又兩院通過ノ見込ガナイト云フヤウナコトカラ、市場ニハ大變ノ變動ヲ來シテ、殊ニ中央證券信託會社ニ於キマシテハ、取引所ガ附帶業務ヲ營ムト云フコトニナレバ、證券信託會社ノ株券ハ何等ノ値打ガ無クナル、ソレガ爲ニ或時代ハ十二圓五十錢拂込ノ中央證券信託會社ノ株式ガ時價五十圓内外ヲ保シテ居リマシタ、所ガ貴族院ニ於テ此取引所法案ガ通過シナイト云フ噂ガ立チマスルト、是ガ今日邊リハ約四十圓位シテ居ル、通過シナイト云フコトニナルト云フ株券ガ暴落スル、是ハ一面カラ申スト云フト、詰リ第八條ニ取引所ハ事業ニ關スル附帶業務ヲ營ムコトヲ得ルト云フ斯ウ云フ條項カラ來タ、大ナル弊害デアラウト思フ、此邊ニ關シテ政府ノ明快ナル御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○鶴見政府委員 第一ノ御質問ハ、現在茲ニ論議サレテ居リマス所ノ改正法案ガ通過シタラバ、三年後ニ之ヲ施行スルト云フコトデアルカト云フ御質問ノヤウデゴザマシタガ、是ハサウデハゴザイマセヌ、幸ニ兩院ノ協賛ヲ得マスレバ、相當ノ日限ヲ置キマシテ、成ベク速ニ之ヲ行ヒタイ積リデアリマス、其三箇年後ニ之ヲ延バシテアルト云フノ日限月間題デ、二箇月ニ短縮サレテ居リマスアレドモ、三箇年ダケノ間ハ三箇月限月ヲ許ス、是ダケガ猶豫スルノデアル、詰リ短縮ダケガ三箇年ノ猶豫ニナルモノデアリマス、他ノ部分ハ御協賛ヲ經マスレバ、成ベク速ニ實行シタイ考デ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス、第二點ハ今後取引所ハ新規設立スルモノハ、會員組織デナケレバ之ヲ許サヌノカ、ドウカ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマス、ソレハ絶對ニ左様ニ申上ゲナイ方ガ宜カラウト思フノデアリマス、併シ成ベク會員組織ニ依ッテ施設スル方ガ宜イト認メテ居リマス、併ナガラ法ノ上デハ

兩様ノ途ガアルノデアリマスカラ、出來ナイコトハ出來ナイノデアリマス、唯タ法人トシテハ出來得ルダケ會員組織ニ依ッタ方ガ宜カラウト思フ、第三ノ點ハ當所株ノ上場ヲ禁止スル意思ガ有ルカ無イカ、斯ウ云フ御意見ト承知シテ居リマス、是ハ是マデ當所株ノ上場ハシテ居ラナカタ、成程新ニ斯ウ云フ問題ガ起ルナラバ、寧ロ當所株ト云フモノヲ賣買セシメナイト云フコトガ最モ宜イト思フ、併ナガラ既ニ之ヲ許サレテ、十數年ノ間ソレニ對スル沿革ヲ持ツテ居ル、之ヲ廢メルト云フコトニナリマス、俄ニ經濟上ニ惡變化ヲ起スコトニナリマス、是等ハ相當考慮シナケレバナラヌノデアリマスカラ、洵ニ好マシカラヌ事デアリマスアレドモ、今之ヲ禁止スルト云フ意思ハ持ツテ居リマセヌ、此前農商務大臣ガ、當所株ノ上場ヲ禁止スルト云フヤウナコトヲ述ベラレタコトガ新聞ニ出マシタケレドモ、是ハ誤聞デアリマシテ、其當時直ニ農商務大臣秘書官ヨリ取消ヲ申込デ居ルヤウナ次第デアリマシテ、サウ云フ話ヲ致シタコトハゴザイマセヌ、何カ是ハ誤聞デアラウト思ヒマス、第四ハ此直トカ延ト云フモノヲ認メル以上ハ、農商務大臣ハサウ云フモノヲ認可セシムルカ、又認可シナクテモ直、延ニ於テヤラレカドウカ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ伺ヒマシタガ、將來ノ方針ト致シマシテハ、現在ノ定期ハ矢張農商務大臣ノ認可ヲ得ナクテハヤレヌコトト思ヒマス、併ナガラ短期定期ノ方ハ、是ハ農商務大臣ノ認可ヲ經ナクテモヤレル豫定デアリマス——是ハ一寸違ヒマシタ、短期定期ノ方ハ認可ヲ要スルノデアリマス、是カラヤリマス現在ノ法ノ上ニアリマス所ノ、差金決濟ヲ許サナイ所ノ直及延ト云フモノノ對シテハ入ラナイト云フコトニナル、即チ實物取引ヲ致スノ付テハ、農商務大臣ノ認可ヲ要シナイ、定期ハ一切農商務大臣ノ許可ヲ要スルコトニナルコト、御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ證券交換所買收ニ對スル件デアリマス、是ハ昨年ノ暮デアッタト思ヒマス、東京株式取引所ニ於キマシテ、東京ノ證券交換所、並ニ兜町「ビルディング」株式會社ト云フモノト合併致シタイ、ソレニ付テ認可ヲ申請シテ參ゾデアリマス、其當時東京ノ證券交換所ニ對シテハ三萬株「ビルディング」ニ對シテハ一萬株ト云フコトデ、買收致シタイト云フコトヲ申シテハアリマス、其當時能ク調査ヲ致シマスルト云フト、當時ノ證券交換所並ニ兜町「ビルディング」ノ株ノ價ト、東京ノ株式取引所ノ株ト對價ガ適當デアルト云フコトヲ信ジマシタカラ、許可致シタ次第デアリマス、今日ノ時價ガ變動シタニ依テ、損失云々ノ問題ハ農商務省ノ關スル所デアリマセヌノデアリマス、取引所ニ於テ適當ニ考ヘマシテ、相當ノ方法ヲ採ルコト、信ズルノデアリマス、農商務省ノ方デソレハ今茲ニ申上ゲル譯ニハ行カヌト思フノデアリマス、ソレカラ

○山邊委員 ケレドモ中央證券デ直取引ヲ決濟シ、或ハ株券ヲ扱テ金ニシ、若クハ株券ヲ貸シテ利息ヲ取ル、其業務ヲ現ニ行ヒツ、アルノデアリマス、ソレハドウ云フ譯デアリマス

○鶴見政府委員 是ハ洵ニ困難ナル問題デアアルノデアリマシテ、實ハ數年前ニ東京及大阪等ノ取引所ニ、試驗的ニ現物ノ賣買ヲ許可致シタノデアリマス、御承知ノ通り現行法ニ於キマシテハ、定期ノ外差金決濟ハ出來ナイ、ソレデアリマスカラ直トカ延トカ云フモノハ、如何ニ試驗的ニ之ヲヤラウトシテモ差金ヲスル譯ニハ行カナイ、本當ニ品物ト金トノ引換ヲスル所ノ受渡ヲ目的トシテ居ル賣買デナクテハ出來ナイ、其故ニ取引所ニ於テ賣買致シマス所ノ所謂現物ト云フモノハ、取引所ニ於テハチャント賣買ガ出來タコトニナシテ居ルノデアリマス、ドウシテモ其途ヲ他ニ求メナケレバナラヌカラ、已ムヲ得ズサウ云フモノガ出來テ居ルコトト私ハ相像スルノデアリマス、併ナガラ將來此改正案ガ通過致シマシテ、幾ニ申述ベタ通り法律ノ上ニ於テ差金ノ決濟ト云フモノガ、短期定期ニ於テモ出來ルト云フコトニナリマスレバ、取引所ニ於ケル所ノ清算決濟ト云フモノモ、取引所ニ於テ賣買ノ初カラ決濟ニ至ルマデ出來ナケレバナラヌコトニ

ナルノデアリマス、サウ云フ他ノ機關ヲ要スルコトガナクナッテ
來ル、唯々今日ノ所ハ變態的ニ現物ヲ許シテ居ル、所ガソレ
ガ幾分力差金決済ニ流レヤウトスルモノアリマスガ、取引
所ニ於テハ奇麗ニ帳簿ノ上デ賣買受渡ガ出來テ居テ、他
ノ所ヘ拔ケテ行クヤウナ傾ハナイカモ知ラヌト私ハ想像致
シテ居ルノデアリマス

○與村委員 私ハ二點質問致シタト思ヒマスガ、分り易
イヤウニ一ツ々々分割シテ御尋ヲ致シマス、第一ハ附帶事
業ノ解決、即チ改正案第八條デアリマスガ、之ニ付テハ午
前中ニ鈴木サンノ御尋ガゴザイマシテ、田中次官ノ御説明
ガゴザイマシタケレドモ、ドウモ未ダ私共ニ判然致サナイ點ガ
ゴザイマス、申上デマス次第ハ、最初原案ニ於キマシテハ、
「取引ハ政府ノ認可ヲ受ケ取引所ノ賣買取引ニ附帶スル
業務ヲ營ムコトヲ得」斯ウ云フ概括的ニ御規定ニナタモ
、此度貴族院デ御修正ニナタノデアリマス、而シテ此原
案ト修正案トヲ對照致シマス、前者ノ概括的ナルニ比シ
テ、修正案ハ稍、部分的ニ規定サレテ居リマス、是ハ孰レガ
宜イカ惡イカ、吾々ハ判斷ニ苦ムノデアリマスガ、同時ニ此
但書ノ點ニ於キマシテ、一層私ト致シテハ、不明ノ點ガアル
ヤウニ思ヒマス、ソレハ「但シ物件又ハ銘柄ノ一部ニ付賠償
ノ責ニ任セサル場合ニ於テ其ノ一部ニ付テハ此ノ限リニ在
ラス」トゴザイマスガ、其銘柄ノ一部ト云フノハドウ云フ事ヲ
意味スルノデアリカ、是ガ疑問ノ第一點デゴザイマス、若モ
此一部ニ付ト云フコトガ、種類ト云フヤウナ事ヲ總括シタ
意味デアレバ、或一ツノ物件又ハ銘柄ガ定期ニ掛テ居ル
サウシテ一方ニ於テハ同一ノ物品ガ短期ノ定期取引ニ掛
テ居ル、其場合ニ於テ長期ノ方ハ依然トシテ賠償ノ責ニ任
ジテ居ル、即チ擔保ヲシテ居ル、然ルニ短期ノ取引ノ方ハ擔
保ヲシナイ、即チ賠償ノ責ニ任ジナイ、斯ウ云フ場合ニ於キ
マシテ一ツノ株ガ例ヘバ郵船トラ郵船ト云フモノガ、長期ニ
於テハ有擔保デアル、サウシテ短期取引ノ方デハ無擔保ト
ナッテ居ル、此場合ニ於テ單ニ短期取引ノ無擔保ノ分ニ對
シテ、資金ノ融通ナリ或ハ附帶事業ト云フモノヲ御許シニ
ナルノデアリカ、長期ノ定期ト短期トアル場合ニ於テ、
短期ノ方ダケガ無擔保デアレバ、ソレデ御許シニナルカ、但シ
雙方トモ無擔保ニナラナイ限リハ御許シニナラヌノデアリカ、
其邊ガ頗ル明瞭ヲ缺クノデアリマス、午前中ノ御説明ニ依
リマス、田中次官ハ先物ダケデモ若シ賠償ノ責ニ任ジナイト
云フヤウナ場合ガアレバ、其分ニ對シテ附帶事業ヲ許ス、斯
ウ云フヤウナ御説明ガアッタヤウニ承リマスガ、ドウモソレデ
ハ私共意味ガ少シ分ラヌ、此疑問ハ私バカリニ止マラス、既ニ
此修正案ヲ見マシタ者ノ中ニハ、斯ウ云フ解釋モアルト云
フコトヲ聞イテ居リマス、ソレハ短期取引ニ假令賠償ノ責ナ

クシテ建株トナッテ居テモ、其同一ノ銘柄又ハ物件ガ長期
ノ取引ニ於テ擔保サレテ居ルト云フコトデアルト、矢張是ハ
附帶事業ハ許サヌコトニナル、雙方トモ無擔保ニナラナケ
レバ、斯ウ云フヤウナ解釋ガ行ハレテ居ルヤウニ承リマス、
若シモ左様ナ事デアリマシタラバ、私共ハ附帶事業ト云フ
モノハ、容易ニ實現シ得ルコトハ難イト思ヒマス、何故ナラバ
極ク平素變動ノ少イモノデ、面モ定期ニヤッテ居ルモノデア
リマスレバ、之ヲ無擔保ニ致シマシテモ一向賣買取引關係
者ニ不安ヲ與ヘズニ済ミマスケレドモ、相應ニ波瀾性ヲ持
テ居ル品物デアリマス、ドウモ全然賠償ノ責ニ任ゼナイデ
ハ危險ヲ感ズル、ソレデ現在ノ狀態見マスト、若シ七日間
ナラ七日間ノ取引ガ、波瀾ノ餘リ少イ時ニハ無事ニ行ハレ
テ居リマシテモ、一朝大變亂ノ機ニ際シテ、而モ賠償ノ責ニ
任ジナイモノダト致シマシタラバ、之ニ關係シテ居ル賣買
者ト云フモノハ、果シテ其賣買ガ正確ニ受渡ガ結了スルモ
ノデアリカドウカト云フコトヲ危ム結果、強制擔保ノ方ノ定
期ノ方ヘ自然ニ移テ行ク作用ヲ爲シテ、其結果非常ナル
危險ヲ來スコトヲ防グコトガ出來得ル狀態ニナリマスケレド
モ、若シモ先程申サユウナ一部ノ人ノ解釋ガ、政府當局ニ
於キマシテ同様ノ解釋ヲ持タレテ居ルト致シマスレバ、ソレ
ハ私共考ヘマスルニ、一朝相場ノ大波瀾ニ遭遇致シマシタ
ナラバ、收拾スベカラザル狀態ヲ招キハシナイカ、斯ウ云フ懸
念ヲ持ツノデアリマス、其邊ニ對シテドウ云フ御解釋デア
ルカ、明確ニ伺ヒタイ

○鶴見政府委員 是ハ餘程大切ナル御質問ト思ヒマス、
第八條ニ附帶業務ト云フモノヲ取引所ニ許スコトニナリマ
シタ理由ハ、先刻モ藏内君ノ御質問ニ對シテ申述ベマシタ
通り、取引所ノ資本ト云フモノヲ成ベク有益ニ使ヒタイ、取
引所ガ強制擔保ヲ致シテ居ルガ爲ニ、今日ノ取引所ノ資
本ト云フモノガ相當ノ高ニ上テ居ルノデアリマス、強制擔
保ヲ廢メルトコトニナリマス、取引所ニ於テ資本ト云フモ
ノハ左程要ラスコトニナル、ソレデハ取引所ノ株主ニ對シ、
取引所ガ又資本ヲ利用スルニ上テ甚ダ不都合デアリカ
ラ、將來ハ何トカ是等多額ノ資本ヲ轉換シテ、之ヲ能ク利
用シテ行ク途ヲ指ヘテ行カナケレバ相成ラヌ事デアラウト云
フ考カラシテ、又一面取引所ノ賣買取引ト云フモノヲ、成ベク實
物取引ニナルヤウニナラシメ、必要モアリマスカラ、將來附
帶業務ト云フモノヲヤラシタナラバ、取引所ノ方デハ資本ヲ
十分利用スルコトモ出來ルシ、強制擔保ヲ廢メタ爲ニ、損
害ヲ受ケルト云フコトハ無イデアラウト云フ委員會ノ決定
ニ基キマシテ、此案ヲ設ケラレタノデアリマス、ソレ故ニ取引
所ノ方ニ於テ強制擔保ヲ廢メナケレバ、附帶業務ヲサセナ
イト云フ事ガ原則ニナルノデアリマス、即チ取引所ガ現在ノ

資本ヲ以テシテハ、擔保ヲスル事バカリシテ居ルノデアリマ
スカラ、擔保モスル、附帶業務モ行フト云フコトニナレバ、資
本ガ足りナイコトニナリマスカラ、又増資デモシナケレバナ
ラヌト云フ必要ガ起リテ來ルノデアリマスカラ、擔保ヲ廢メナケ
レバ附帶業務ヲサセヌト云フコトガ、委員會ニ於テ決
定ノ趣意デアッタノデアリマス、ソレ故ニ貴族院ニ於キマシテ
其答辯ヲ致シマシタ爲ニ、ソナラバ此但書ヲ附ケタ方ガ宜
カラウト云フコトデ、二十二條ノ規定ニ依テ、賠償ノ責ニ
任ジテ居ル株式組織ノ取引所ハ、倉庫業ノ外前項ノ附帶
事業ヲヤルコトハ出來ナイト云フ規定ヲ附ケラレタノデア
リマス、併ナガラ斯ウシテシマヘバ、株式組織ノ取引所ト云
フモノハ、何時迄モ擔保ヲ廢メナケレバ附帶業務ト云フモノ
ハ行フコトガ出來ナイデアリカ、サウスルト取引所ガ段々
ト會員組織ニ變テ行カウトスル一ツノ道行ヲ失フコトニナ
ルノデアリカラ、ソレニ對シテ但書ヲ附ケル必要ガアルト云フ
ノデ、但書二條ヲ入レラレマシテ、一部ダケ擔保ヲ廢メタ場
合ニハ、其分ニ應ジテ附帶業務ヲ行フコトガ宜カラウト云フ
ノデ、此但書ガ這入ッタノデアリマスガ、然ラバ此今例ニ御出シ
御承知ヲ願ヒタイノデアリマスガ、大體ノ解釋ハ左様ニ
ナッタヤウニ、ドウ云フ場合ニ之ヲ適用スルノデアリカト云フ
御質問ニナリマス、是モ例ヲ申上デテ見マスレバ、例ヘバ
取引所ニ於テ端株トデモ申上デマスガ、重要ナル數種ノ株
券ノ擔保ハ取引所ガ依然トシテ附スルガ、ソレ以外ノ株式
業務ヲ許シテ行ッテモ宜カラウト云フコトモ、一ツノ方法デア
リマス、又端株トデモ申シマスカ、其一ツ例ヘバ砂糖糖株トカ、
紡績株トカ云フモノニ對シテ、強制擔保ヲ廢メタイト云フ
場合ニ於テハ、其株ニ對シテ附帶業務ヲ許シテ行クヲ宜カ
ラウ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、現在ノ東京、大阪等
ノ例ヲ引イテ御述ニナタノデアリマスガ、取引所ニ於テ是
迄モ實際ニ於テ短期定期ノヤウナ事ヲヤラシメ居ル、其取引
所ニ於テ依然トシテ是カラ先モソレヲ繼續シテ行キタイト
云フ場合ニハ、サウ云フモノニ對シテ之ガ新ニ法律上出來
タ所ノモノデアリカラ、ソレニ對シテ取引所ガ擔保ヲセヌ場
合ニハ附帶業務ヲ許サレラカト云フト、ソレハ相當考ヘナゲ
レバナラヌ事ダラウト思フ、實際問題トシテ十分其等ノ點ヲ
考慮致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、一番近イ例ヲ
申上デテ見マスレバ、今日行ハレテ居リマス所ノ定期カラ、
或ハ數種ノモノヲ引拔イテ來マシテ、サウシテ擔保ヲセヌ、是
モ短期ノ方ニ於テモ擔保ヲセヌ、長期ニ於テモ擔保ヲセヌト
云フ場合ニ於テハ明ニ附帶事業ヲ爲シ得ルコト、思フノ
デアリマス、是等ノ事ハ一々實際ノ狀態カラ判斷セバナラ
ヌコトデアリマシテ、一概ニ茲ニアウストラクトニ御話スル

コトハ出来マセヌノデアリマス、大體サウ云フ考ヲ以テ是カラ進ンデ行キタイト思フテ居ル次第デアリマス

○奥村委員 ソレデハ只今ノ御説明ニ依リマス、短期ノ取引ガ賠償ノ責任ニ於テハ、サウシテ一方ニ於テハ附帶事業ヲ許サル、カドウカト云フ質問ハ、之ヲ全然許スモ御許シナラヌトモ、確然トマダ定メテ御方針ヲ持テ居ラヌモノト解釋致シマシテ宜シウゴザイマス

○鶴見政府委員 私ノ申上デマシタノハ、實際ノ問題ヲ能ク研究致シマセヌト、周圍ノ事情ニ依テハ決定シナケレバナラヌモノデアリト云フコトヲ申上デタノデアリマス、竊ニ御聞ニナクヤウニ長期ニモ短期ニモ掛テ居テ、サウシテ孰レカ一方ガ例ヘバ短期ガ擔保ヲセヌト云フ場合ニ於テハ、附帶事業ヲ許スカドウカト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、ソレハ認メザル方針ヲ執リタイト思フ、併ナガラ是等ハ周圍ノ事情ヲ見マシテ決定シナケレバナラヌト云フコトヲ申上デタノデアリマス

○奥村委員 ソレデハ附帶事業ニ關シマスル質問ハソレデ止メマシテ、次ニハ極ク簡單ニ是ハ本會議デ質問シタノデゴザイマス、大體次官ノ御返事ガ私ノ質問ノ意味ヲ取違ヘテ居ラレタヤウデアリマス、更ニ御尋致シマスガ、御承知ノ如ク市中ニ於ケル、或ハ地方ニ於ケル現物商ナル者ガ非常ニ澤山ゴザイマシテ、其等ノ現物商ノ中ニハ、隨分如何ハシイ者ガ多イデアリマス、デアリマス、之ヲドウカシテ取締ルコトガ出来ルカドウカ、大阪或ハ東京トカノ取引所ニ屬スル仲買ヲ開業スル場合ニ於テハ、非常ナル嚴重ナル身元、資産、信用等ヲ御調査ニナシテ其上デ御許シタルニ拘ラズ、現物商ナルモノハ、全然放任主義デ開業ガ出来テ居ルノデアリマス、是ハドウモ私共鈞合ガ取レナイヤウニ思ヒマス、此現物商ニ對シテモ、多少何等カ免許主義ヲ取ラレタドウデアラウカ、例ヘバ質屋營業ノ如キ、免許ヲ受ケタ上デナケレバ開カヌコト、致シマシタナラバ、多少如何ハシイ分子ヲ排斥スルコトガ出来マセヌカ、今日ノヤウナ害毒ヲ流サズシテ済ミハシナイカ、斯ウナリマスガ、政府ニ於テハ斯様ナ御考や、又調査ハ今日マテ爲サラナカッタコソレヲ承リタイ

○鶴見政府委員 取引所外ニ於ケル現物屋ト唱ヘマシテ、株式ヲ賣買致ス者ノ弊害ニ付テハ、只今奥村君ノ御述ニナリマシタ通り、政府ニ於キマシテモ、隨分其弊害ノアルコトヲ認メテ居ルノデアリマス、或ハ此取引所改正法案ニ於テ、是等現物商モ取締ラタガ宜カラウデヤナイカト云フ議論モナカッタヤナイノデアリマス、併ナガラ取引所法デハ取引ノ事ヲ規定スルノガ適當デアラウ、而シテ一般ノ現物商ト云フ者ノ弊害ハ、寧ロドウ云フ所ニ其弊害ガアルカト申シマ

スルト、所謂詐欺或ハ誘惑スルト云フヤウナ事ガ非常ナル主ナル分子デアラウト思フノデアリマシテ、是等ハ一般ノ警察取締ニ於テモ、相當途ガ講ゼラレナクテハナラヌト、信ジテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ將來勅令或ハ法律ヲ以テ、是等ノ現物商ノ取締ヲ致サナケレバナラヌ場合ガアルカモ知レマセヌ、今日デハ此法案ノ中ニソレヲ包含ヲ致シテ居リマセヌ、性質上ハ別個ノ法令デ以テ取締ルベキモノデアラウト思フノデアリマス、政府ハ只今御質問ノ如ク、現物商中ニ澤山弊害ノアルヤウナ事ハ相當ニ認メテ居ルノデアリマシテ是等ニ對シテモ相當ニ考慮ヲ拂テ居リマス、今日デハマダ法令ヲ以テ愈之ヲ取締ルカドウカト云フコトハ決定致シテ居リマセヌ

○奥村委員 私モ現物商ノ取締ニ付キマシテハ、別ニ此法案デ規定サレヌモノトハ思ヒマセヌ、唯關聯致シマスカラシテ御尋致シタ次第デアリマス、此小現物屋ノ色ミナ詐欺同様ノ手段ヲ行テ致シマスコトハ、既ニ政府モ御認メニナッテ居ラレタヤウデアリマス、更ニ一方ニ於キマシテ、此資産信用ノ大ナル現物問屋ナルモノハ、是ハ恰モ此商賣ノ繁昌スル時ニ於キマシテハ、差金取引ヲヤルノ同様ナ商振ヲ致シテ居ルノデアリマス、此點ハ丁度私共從來存在致シマスル商券交換所、若クハ其類似ノ會社ノ賣買取引振ニ付テ、定時隨時ニ使フ所ノ懸念ヲ持テ居リマス、ソレデ從來モ度々サウ云フコトヲ論ジ又此議會ニ於マシテモ質問ヲ致シタコトモゴザイマス、幸ニシテ此度ノ改正案ノ成立致シマスルト共ニ、其等ノ問題ハ解決致スト云フヤウニ存ジマスルカラ、今更替事ヲ追フノ必要ハゴザイマセヌ、然ルニ此市中ニ於ケル所ノ現物屋ナルモノハ、寧ロ證券交換所以上ノ信用ト名聲ヲ持テ、差金賣買ヲ爲シツ、アルヤウニ思ハレル分モアルノデアリマス、勿論此點ニ付テ政府ハ從來御調ニナッテ居ラルカドウカ、此點モ併セテ承テ置キタイ有ジマス

○鶴見政府委員 御尤ノ事デゴザイマス、此改正案ハ幸ニ兩院ヲ通過スルコトニナリマシタナラバ、政府ト致シマシテハ、假令是ガ個人デアラウト、會社組織デアラウト、苟モ差金決済ヲスル、或ハ證券賣買スル市場的行爲ヲスルト云フコトニナリマスレバ、十分ナル取締ガ出来ルコトダト信ジテ居リマス、即チ市場ヲ開クコトニナレバ、第五條ナリ、又差金決済ヲスルニハ二十六條ノ一ニ依リマシテ、取締ガ出来ルノデアリマス、勿論此法律ノ改正ヲ企圖シテ、十分取締ヲ致シタイト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○奥村委員 次ニ御尋致シタイノハ、法人ガ新ニ設ケラレルコトニナリマシタ、其法人仲買人ト申シマスルト、一見致シマスルト、信用ガ薄弱ナル個人ノ仲買人ヨリハ多イヤウニ

聞キマス、ケレドモ、一面ニ於キマシテハ、此有限責任ノ會社トカ、此仲買營業ニ從事致シマシテ、サウシテ其有限ダケノ資本金ヲ以テ、大ナル思惑大ナル賣買ヲ試ミマシテ、他ニ迷惑ヲ掛ケルト云フヤウナコトガゴザイマス、却テ個人ガ無限ノ責任ヲ帶ビテ居ルノトハ、甚シイ弊害ヲ及ボハシナイカト云フ懸念ガアルノデアリマス、ソレデ其懸念ヲ去ルノニハ、此資本金ヲ標準トシテ、無論許可不許可ヲ決セラレヌト思ヒマス、其程度即チ實際ニ拂込ム資本金ハドウ位カラ御許シナラカ、ソレヲ承リタイノデアリマス、ソレカラ次ニハ單ニ取引ガ出来マシタ場合、ソレニ關スル專屬仲買人ガ自然出來ルノハ理ノ當然デアラウト思ヒマス、其場合ニ於キマシテ、此仲買人ノ身元保證金額ハドウ位ノ程度ニナサル御見込デアリマス、ソレヲ承リタイノデアリマス

○鶴見政府委員 是モ御尤ノ御注意デアラウト思ヒマスガ、資本金ノ大小ト云フコトハ今日未ダ決定ヲ致シテ居リマセヌ、私共ノ考デハ資本金ノ大小ト云フコトヨリモ、其内容ニ立入デマデモ十分調査ヲ必要トスルト思ヒマス、御承知ノ通り資本金ヲ相當ノ高マデ上デマシテ見テモ、是ハ相當ノ澤山ナル人ガ集リマスレバ、其資本金ニスルコトモ容易ニ出來ルコトデアリマス、唯ダ單ニ資本金ノ大小ヲ決スルコト云フコトガ出來マイト思ヒマス、資本金モ一ツノ標準ニシナケレバナリマセヌ、其外ニモ種々ノ要件ヲ具備シテ弊害ガナイト云フコトデナケレバ、農商務省ニ於テハ認可セヌ積リデアリマス、是ハ法人仲買ヲ認メマシタノハ、多年朝野ノ希望デアリマシテ、殊ニ商品賣買スル仲買人ノ如キハ、隨分大キナ會社等ガアッテモ、會社ニ於テ取扱テ居ル所ノ品物賣買スルキニハ、今日ハ仲買人ヲ置カナイノデアリマシテ、仲買人ノ途ヲ開クコト云フ上カラ致シマシテ、此法人仲買人ヲ認メマシタノデアリマス、是等ノ方針ニ反カナイヤウニナリマス、ソレカラ第二ニハ仲買人ノ身元保證金ヲドウ位ニスルカト云フコトガ定メテ居リマセヌ、是ハ御承知ノ通り身元保證金ノ額ハ、其資本金ニ應ジテ定メテ居ルノデアリマス、今日ノ定期仲買人程ニ澤山ハ要シナイ積リデアリマス、相當ノ資本金ヲ有テ居ラヌ者ニハ許サナイ積リデアリマス、是等ハ尙ホ調査シテ決定スル積リデアリマス

○奥村委員 次ニ御尋致シタイノハ、現在ノ取引所ハ期米ノ取引所ニ於キマシテモ、最も多キニ過ギナイカト思ヒマスガ、事實ハ府縣ニ依リマシテ、一府縣ニ於テ三箇所モ此取引所ノアル所ガアリマス、然ルニ是ガ營業滿期ト共ニ繼續ヲ許サマルモノデゴザイマスレバ、自然的ニ取引所ガ減ジテ行クコトガ出來マシタケレドモ、從來ノ例ニ依リマスレバ、無限ノ營業ヲ許サレテ居ルノデアリマス、併シハ一面ヨ

リ見マスレバ、不意ニ營業ヲ繼續セシメスト云フコトニナリ
マスレバ、經濟界ニ大ナル惡影響ヲ及ボシマスル所ノ點ニ於
テ、殆ド無限ノ營業繼續ヲ許サレテ居ルモノトハ思ヒマス
ルガ、若シ斯ウ云フ事ガ何時迄モ續キマスルト、百年河清ヲ
待ツ如ク、取引所ノ數モ減ジナイデアラウト思ヒマス、尤モ
此度ノ改正案ニ於キマシテハ、此點ヲ多少考慮ノ中ニ加ヘ
ラレタモノト思ヒマシテ、他ノ取引所ト合併スル場合ヲ第
四條ニ規定サレテ居リマス、併ナガラ合併ハ必シモ消滅デゴザ
イマスカラ、極テ大キナ取引所ニ小ナル取引所ガ合併サレタ場
合ニハ、小ナル取引所ハ自然消滅スルコトガ、合併ニ依ッテ
長イ年限ヲ維持スルト同様ノ結果ニナリマセヌカト考ヘル
ノデアリマス、ソレデ私共之ヲ如何ニシテ制限スルコトガ出
來ルカト考ヘマス、一、現在政府當局ハ、一地區一箇所
ト云フ原則ヲ取引所ニ於テ常ニ御持ニナッテ居ルヤウデゴザ
イマスガ、此地區ノ變更サヘ行ヒマシテ取引所ヲ整理致シマ
スレバ、自然ニ數ガ減ズルコトガ出來ルト思ヒマス、此地區ノ
變更モ急激ニヤリマスレバ、無論惡影響ヲ及ボシマスレド
モ、一府縣ニ三ツモアルコトハ、比較的能ク併合サレテ一ツ
ノモノニナル、必シモ支所ト爲サヌデ、一ツノモノニナリ得ル
性質ヲ持ッテ居ルト考ヘマスカラ、斯様ナ點ニ付テ從來又ハ
改正案ヲ作成サル、場合ニ、御考慮ニナッテ居ラレタノデア
リマスガ、是モ併セテ承テ置キタイノデアリマス、次ニハ此株
式ノ長期取引ニ對シマシテ短期取引ガ出來マシタナラバ、
期米市場ニ於テハ左様ノ短期取引ガ許サレテ居リマセヌ、
之ニ對シテ正米市場ノ法案ト云フヤウナ單行法ヲ今後御
出シニナル御見込デアラカドウカ、其次ニハ今回ハ取引所法
並ニ稅法ニ大改正ヲ行ハレマスノデアリマスカラ、今後此改
正法ヲ運用シマス上ニ於テ、勅令ヲ改正サレ、取引所トシテ
ハ定款ガ改正サレルコト、思ヒマス、ソレニ付テモ政府ハ模
範定款ヲ御出シニナルカドウカ、之ヲ豫メ承テ置キタイノデ
アリマス

○鶴見政府委員 取引所ノ數ガ多キニ失スルト云フ御考
ハ、農商務當局ニ於キマシテモ同様ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、出來ルタケ其必要ノ無イ所ハ、之ヲ存置シナイヤウニ致
シタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマスレドモ、只今御述ニナ
リマシタ通り、其地方ニ取ッテハ經濟上重要ナ問題デアリマ
スカラ、繼續年期ガ切レタト云ッテ、直ニソレヲ以テ廢止スル
コトハ甚ダ穩當ヲ缺クト思ヒマス、其地方ニ於キマシテ、最
早存置スル必要ガナイト云フヤウナコトガ明瞭デアリマシ
テ、地方ノ經濟狀況ニハ不便ヲ生ジナイト云フ場合ガ假ニ
アルトスレバ、是等ノモノハ勿論整理ヲ行ヒテ宜イト思ヒ
マスガ、其繼續ヲ希望スル場合ハ是ハ許サヌ譯ニ行カヌト
思ヒマス、ソレ故ニ御述ニナリマシタ通り、第四條ノ規定ヲ

置キマシテ、合併ヲ致シマシテ之ヲ支所ト致シ、段々ト合併
ノ實ヲ舉ゲテ行クヤウニシタイト云フ希望カラ此規定ヲ設
ケタ次第デアリマス、只今御質問ニナリマシタ、一地區一箇
所ト云フコトニナッテ居ル此區域ノ變更ヲスレバドウカト云
フコトデアリマシタガ、是等モ地方ノ經濟上ニ重大ナル影響
ヲ與ヘル、是ハ成ベク避ケル必要ガアルト思ヒマスカラ、十分
考慮致シマシテ、經濟上ニモ大シタ變動ヲ與ヘズ圓滿ニ行
クヤウニ相當ノ考慮ヲ致シタイト思ヒマスガ、今日デハ其等
ニ對シテ、遺憾ナガラ確定シタイ意見ヲ申上ゲルコトガ出來ヌ
ノデアリマス、ソレカラ第二問ノ期米市場ノ事デアリマス、即
チ此正米市場ト云フモノヲ將來許スカドウカ、又其法律デ
モ出スカト云フ御話デアリマシタ、是モ正米市場ノ問題ハ
長イ間ノ懸案ニナッテ居ルコトデアリマシテ、是迄度々正米
市場ト云フモノヲ、速ニ許シテ貰ヒタイト云フ希望ハ澤山
出テ居ルノデアリマスカラ、政府ニ於キマシテモ、成ベク速ニ
適當ナ方法ヲ講ジタイト云フコトヲ考ヘテ居ルノ關係ヲ持
シ、正米市場ハ此米ノ取引所ト非常ニ密接ナル關係ヲ持
テ居リマス、此取引所法ガ決定致シマセヌト、正米市場法
ト云フモノヲ出スニ致シマシテモ甚ダ困難ナ點ガアリマス、先
ヅ此取引所法ノ改正ガ出來テカラ後ニ、正米市場法ト云
フモノヲ手ヲ著ケタ方ガ宜カラウト云フコトデ、今日迄決定
ヲ致シマセヌ、愈、此改正案ガ實行セラル、コトニナリマスレ
バ、出來ルタケ速ナル間ニ於テ、正米市場ノ問題モ解決ヲ致
シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第三ノ御質問ハ、取引所
法ノ改正ニ伴ッテ取引所令ノ改正モスルダラウ、又模範定
款ト云フモノヲ出スカト云フ御意見デアリマスガ、其等ノ事
ハ相當考慮ヲ致シマシテ、模範定款ヲ出スカトガ宜イト云
フコトデアリマスレバ、出ス積リデアリマス、今日デハソコ迄ハ
研究ヲ致シテ居リマセヌ、大體此法案ノ骨子ガ定マリマシタ
ナラバ、取引所令ノ改正ヲ考慮致シマシテ、次ニ其等ノ考
慮ヲ致ス積リデアリマス

○奥村委員 モウ一ツダケ質問ヲ御許シテ願ヒマス、モウ
一ツ質問致シタイト思ヒマス、ハ綿糸先約ノ弊害ト、三品
市場ニ於ケル現物賣買ノ關係デアリマス、綿糸ノ長期先約
ガ行ハレテ其弊害甚シイコトハ、今更私ガ申上ゲル迄モゴザ
イマセヌ、是ハ先年來政府ニ於キマシテモ既ニ御認ニナリマ
シテ、其結果今回ノ取引所法改正ト共ニ、成ベク綿糸ノ先
約ヲ行フ所ノ問屋ヲシテ、一ツ例ヘテ申シマスルト、大阪ニ
於ケル所ノ三品取引所ノ如キモノニ統一シヤウ、斯ウナッテ
居ラル、ヤウニ承ッテ居リマス、然レ現在ノ定期ハ、主トシテ
左二十手ノ賣買ガ行ハレバカリデアリマスガ、綿糸ノ先約
ナルモノハ各種ノ銘柄取引デアリマシテ、劃一ナル左二十
手ガ行ハレル定期ノミデハ、何等實際ノ用ヲ爲サヌ、隨テ若

シ之ヲ同一市場ニ收容サレテ、其市場ニ於テ現物取引ヲ
許サル、ト云フコトニナリマスレバ、其場合ニ於キマシテハ銘
柄賣買ヲ許サレルノデアリマスガ、ソレハ銘柄賣買ト云フモ
ノハ、一部分ノモノハ東洋紡、或ハ鐘紡ノ番手銘柄トシテ
賣買スル時分ニ、買占其他ノ行ハレ易イ弊害モゴザイマス
カラ、同ジ左二十手ガアレバ二十手、或ハ十六手デアレバ十
六手、從來三ツノ銘柄ヲ組合セテ三銘ト稱シテ居リマスガ、
サウ云フ風ニ組合セテ行ウデ賣買ヲ許サレルモノデアラカド
ウカ、今日ハ未ダサウニ云フ點マデ方針ヲ御定メニナッテ居ラ
ヌカドウカ、既ニ此改正法ガ通過致シマスルストスレバ、之ガ
實施モ速カラヌコト、思フ、然レハ先般來永ル所ニ依リマス
レバ、綿糸ノ現物取引ニ對シテ那邊マデ此限月ヲ許サレル
カ、定期ノ六箇月制ニ對シテ現物ハ何箇月マデ許サレルカ、
又定期ハ九箇月ニサレルデアラカ、或ハ一年ニサレルデア
アルカ、其邊モ甚ダ明瞭ヲ缺イテ居リマシテ、當業者ハ非常
ニ疑問トシテ居ルヤウデアリマスカラ、此點ヲ私ヨリ御尋致
シマス

○鶴見政府委員 綿糸ノ場外ニ於ケル賣買ガ非常ニ放
漫ナル取引トナッテ、一昨々年デアリマシタカ、非常ナ害毒ヲ
流シタコトガアル、是等ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ
十分ニ考慮ヲ拂ヒマシテ、再ビ斯ウ云フ事ノナイヤウニ致シ
タイト云フ考ヲ以チマシテ、昨年來大阪ノ主ナル綿糸商ト
云フモノヲ語ラヒマシテ、三品ノ取引所ノ中ニ這入ッテサウ
シテ節制アル賣買ノ出來ルヤウニ致シタイト云フ考ヲ以テ、
干涉致シテ居ルコトモアルノデアリマスガ、是等ノ改正案ガ
出來マシタナラバ、恐クハ其レノ方法ニ依リマシテ、成ベク早
ク其進行ヲ促シテ來ルヤウニナリタイト思ッテ居リマス、先刻
モ申シマス通り、名古屋ニ於キマシテハ、會員組織ノ綿糸ノ
取引所ガ出來ルコトニナッテ居リマシテ、是等モ一ツノ模範
トナッテ動クヤウニナルト云フコトヲ希望シテ居ルヤウナ次第
デアリマス、將來取引所ニ入ッテ賣買スルコト云フ場合、ドウ云フ
方法デ賣買セシメルカト云フヤウナ事柄ニ付テハ、是ハ相當
ニ考慮ヲ致シテ居リマスレドモ、出來ルタケ實情ニ應ジマ
シテ、サウシテ商習慣ヲ尊重致シテ、不都合ノナイヤウニヤ
テ行キタイ考デアリマス、或ハ組合セ賣買ト云フモノモ必要
ナラバ、ソレハ宜カラウト思フノデアリマス、唯ダ其生産ガ少
ナクテ、サウシテ買占ニ依ッテ其價ヲ高メルヤウナ事ガアリマス
ト、折角我ガ重要產物、殊ニ輸出品デアアル物ノ前途ニ惡影
響ヲ與ヘルコトデアリマスカラ、其等ノ點ハ能ク當業者ト協
商ヲ致シマシテ、不都合ノナイ點ニ於テ許ス積リデアリマス、
例ヘバ限月ノ問題ニ付テ御述ニナリマシタガ、此限月ノ問
題モ是モ餘程關係ノアル問題デアリマシテ、長クナッテ見テ
モ亦弊害ガアリ、短クテモ亦效果ガナイコトデアリマスカラ、

能ク商業上ノ習慣ナリヲ調査致シマシテ、之ニ應ジタイ考
アルノデアリマス、御承知ノ通り米トカ蠶絲ト云フモノニ
ナリマスルト、我國ノ重要商品トシテ、既ニ數十年ノ間此商
習慣等ニ付テハチャント定ツタモノガ有ルノデアリマスルガ、
綿糸布ニ至リマスルト、我國ノ發達ハ近來ノコトデアリマス、
殊ニ其大多數ト云フモノハ、輸出ヲスル競争品ノ多イ商品デ
アリマスルカラ、日本ダケノ考デ之ヲ定メルト云フコトハ甚ダ
輕率デアアル、出來ルダケ世界ノ大勢ニ應ジテ、不都合ノナイ
ヤウニシテ行カナケレバナラヌ、殊ニ此綿糸布ハ原料ハ我國ニ
無イノデアリマシテ、悉ク輸入シテ生産スルコトデアリマスカラ、
其先物ノ賣買ニ於テモ、向フノ買付及輸送機關、外國ノ商
習慣ト云フモノト相應ジテ、我國ノ制度ヲ立テ、行カナケレ
バナラヌノデアリマスカラ、是等ヲ法律ノ上ニ書イテシマッテ
後ニ變更ガ出來ナイト云フコトニナルト、甚ダ惡影響ヲ與ヘ
ルト云フコトヲ信ジマシタカラ、勅令ニ讓ツタ次第デアリマス、
相當材料ハ持ッテ居リマスケレドモ、尙ホ念ノ上ニモ念ヲ入
レテ、當業者ト十分ナル協議ヲ致シマシタ以上ニ定メタイト
云フ考デ、法律ノ上ニ之ヲ書イテ居ラヌダケノ事デアリマシ
テ、何等定見ナクシテ之ヲ定メテ居ラナイト云フ譯デハナイ
ノデアリマス、要ハ實際ノ狀況ニ應ジ、商習慣ニ從ヒ、世界
ノ競争場裡ニ於テ不都合ノナイヤウニシテ行クト云フノガ
趣旨デアリマス、是等ノ點カラマダ決定ヲセヌダケデアルト
云フコトニ御承知ヲ願ヒマス

○渡邊委員 ドウデスカ、今日ハ此程度デ止メテハ…

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○川原委員長 サウシマス、今日ハ此程度デ散會致シマ
シテ、明後日稅法ハ午前委員會ヲ開イテ決定シタイト思ヒ
マス、ソレカラ取引所法案ハ引續キ質問ヲ繼續致シマス、各
黨派ニ於テハ何レ態度ヲ御決定ノコト、存ジマスカラ、サウ
ニ云フ工合ニ致シテ置キタイト思ヒマス、是デ散會致シマス

午後四時十七分散會

大正十一年四月三日印刷

大正十一年四月四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局